

TOUCH DRIVE

Guide To Premium Experience

SPORT HYBRID

秋のドライブとスタイルを楽しむ





GREUBEL FORSEY

ART *of* INVENTION

www.greubelforsey.com



YOSHIDA

SINCE 1920

グルーベル・フォルセイ プティック 銀座 オープン

グルーベル・フォルセイ プティック 銀座 東京都中央区銀座4-3-10 03 3538 5401

YOSHIDA 東京本店 東京都渋谷区幡ヶ谷2-13-5 03 3377 5401

名古屋 YOSHIDA 愛知県名古屋市中区栄3-17-17 052 243 5401

watch-yoshida.co.jp



Sofa A・SOFA es design: ARFLEX JAPAN R&D
Lounge chair NINA SALON design: Chiara Andreotti
Table STELO COMFORT design: ARFLEX JAPAN R&D
Living table S.21 design: Mist-o
Light GEO60 design: C.O.D.

Cheers to the good life!



Photo Location : CASA MIA KAWAGUCHI-KO

直営店 アルフレックス 東京 / アルフレックス リストア / アルフレックス 名古屋 / アルフレックス 大阪
代理店 カンティハウス札幌 / リンテル / BY YAMAGISHI (金沢) / プロボスタ(アルフレックス 福岡)
ARFLEX JAPAN LTD. カスタマーサービス ☎0120-33-1951 受付時間:月~金(祝祭日除く)10:00~17:00

arflex



COVER
 Photography_Kentaro Oshio
 Styling_Kohei Kubo (QUILT)
 Hair Make_Saori Hattori
 Model_KENJI, Akane Kunio
 (NUMBER EIGHT)

SPORT HYBRID

秋のドライブとスタイルを楽しむ

今夏のパリ五輪のマラソンでは、テクノロジーがふんだんに搭載されたシューズを履いたランナーたちが、古都パリの街を一糸乱れぬフォームで駆け抜けました。彼らは真っすぐに、軽やかに、そしてアクセルを一気に踏み込んだように、カメラを置き去りにしてぐんぐんと加速していきます。

その風を纏い情熱が躍動する姿は、AIをはじめとした最新のデジタル技術による演出でお茶の間にも中継され、人の勇ましさと歴史、テクノロジーが掛け合わさって光彩を放つ、オリンピックの“ハイブリッド”な世界観と多様性は、私たちが大いにインスパイアしたと思います。

今号ではアスリートたちが伝えてくれたスポーツが宿す、時代を覚醒させる力を、皆さんのライフスタイルに少しでもくわえて、いつもと違う情熱的な秋をお楽しみいただければと思います。

愛車で自転車や馬に乗り出かけるライドミックスな旅、本質を継承する伝統技法と異素材を組み合わせたハイブリッドな最新ワードローブ、さらにボクシング世界王者の独占インタビューにモータースポーツティップスなど、スポーツマインドを刺激する一冊をここにお届けします。

TOUCH DRIVE 編集部

本書編集ページに掲載されている商品などの価格は、原則として消費税等を加えた総額表示であり、2024年10月現在のもの（消費税率10%）です。本体価格や店舗情報などは諸事情により変更されることがあります。

CONTENTS

Feature

ROAD TRIP

08 GONE WITH THE WIND 風と共に去りぬ

10 自然との一体感を全身で感じる
自転車でしか味わえない体験

14 保護馬が余生を過ごす牧場で
癒しと生命の尊さに触れる

18 体を動かした後に立ち寄りたい
那須&日光ドライブスポット

FASHION

22 SPORT HYBRID
スポーツマインドを宿した地で
アクティブな最新服を身に纏う

MORTORSPORT

40 世界のモータースポーツの現在地

Column, Interview & News

30 体験や観戦以外の価値を生み出す
`東京スポーツ名建築、

46 最新のサーキット体験は東京にある

50 スポーツ愛好家のための
ラグジュアリーウォッチ

63 家族の絆と、食らいつく魂。
井上拓真 `強さの理由、

66 TOUCH DRIVE NEWS

Experience

21 TOUCHの森

- 走った分だけ森になる -

今号で特集した旅で巡ったスポットへドライブしていただくことで、美しい日本の森と里山の再生を目的に植樹するプロジェクト。

Follow us



TOUCH DRIVE TOURING 企画中!
詳細は公式 LINE でお届けします。

読者限定スペシャルイベント

今号もエクスクルーシブなイベントをご用意。詳細とお申し込みはこちらからご確認ください。



baccarat.com

Baccarat

TOUCHの森

- 走った分だけ森になる -

参加方法は簡単!
参加者には抽選でプレゼントも。

QRコードより「TOUCH DRIVE MAP」にアクセス。スポットに到着したらGPSスタンプを押すだけ。週末はぜひ愛車で特集のロードトリップをお楽しみください。皆様が走ってくださった分、森が少しずつ広がります。



事前に「TOUCH DRIVE MAP」をブックマークしてお出掛けください!



風と共に去りぬ

那須町は関東の北限、東北の南限に位置し、多様な植生や多彩な景色を楽しむことができる。大正時代に皇室の御用邸が建てられて以降、ここは日光国立公園周辺と共に“ロイヤルリゾート”として名を馳せ、エレガンスを纏う風が高原にそよぐ。高貴な土地柄からか、道も広範囲にわたって整備され、林道を風と共に走り抜けるドライブやサイクリングにも最適な場所と言える。そして、どこまでも続く高原に身を委ねれば、心地よい風が、心身のリセットと明日へのリチャージをしてくれる万能薬となる。長い夏が終わり、ようやく訪れた秋、何やら素敵な風が吹く那須高原エリアへとアクセルを踏んでみてはいかがだろうか。思いがけない素敵な出会いが待っているはずだ。

Photography_Kunihisa Kobayashi (p8-17)
Illustration_Kenji Oguro (MAP) Words_Tetsuya Sato

GONE WITH THE WIND





BIKE RIDING

自然との一体感を全身で感じる 自転車でしか味わえない体験

緑豊かな高原を降れば、郷愁を誘う原風景が眼前に。起伏に富んでいるが
広大な平地も続く。那須高原はサイクリストにとっての理想郷だ。
ペダルを踏み込むと、都会の喧騒も瑣末な悩みも“風と共に去りぬ”。

Photography_Kunihisa Kobayashi Words_Tetsuya Sato



McLaren Artura Spider
パバイヤスパーク

1

RIDE EXPERIENCE

ライドエクスペリエンス



BIKE RIDING

4

1. E-バイクと並走するマクラレーン アルトゥーラ。牧歌的な風景に鮮やかなオレンジが映える。2. 台地と冷涼な気候から、酪農が盛んな那須高原。広大な牧場を横目にスピードに乗れば、自分が風景に溶け込んだような感覚に。3. 「トレック」のE-バイクは、乗りやすく高い基本性能をもつクロスバイク。一定の速度を超えると自動的に電動アシストが解除されるので、初心者でも安心。滑るように進むスムーズな乗り味は、まさに格別。4. 地元住民も知らないような隠れた小道や未舗装の砂利道を走破する「林道グラベルライド」。ガイドの長谷川さんによると、海外から来た参加者に「年齢も性別も異なる家族全員で楽しめるのが何より楽しい。日本旅行の中でも一番の思い出になった」と喜んでもらったそう。5. グラベルを走るファットバイクには極太タイヤを装備。見た目からは想像できない軽さと柔らかなテンションで悪路でも難なく進む。



5



那須ガーデンアウトレット内に位置する「ライドエクスペリエンス」。野菜の収穫体験ができる「那須里山ファームライド」や自然派ランチで体を整える「那須の森サイクリトリート」などテーマのあるツアーを実施している。

基本のサイクリングツアーは3種類。「林道グラベルライド」(参加料:7,000円/人、催行人数:最少2名/最大定員10名)と「那須里山ファームライド」(参加料:15,000円/人「昼食込み」、催行人数:最少2名/最大定員20名)には、ガイド役のスタッフが同行。「高原スイーツライド」(参加料:5,000円/人、催行人数:最少1名/最大定員6名/回)は、GPSナビ機能とマップを使って決められたコースをサイクリングするセルフツアーとなる。

ライドエクスペリエンス
 栃木県那須塩原市塩野崎184-7
 那須ガーデンアウトレット サウスエリア
 ☎ 0287-74-5585 📍 約2,500台 EV充電器 あり
 ride-experience.com

れる。帰りに、名湯・板室温泉で汚れと汗を洗い流せば、心も体も満たされるに違いない。山本代表が「自転車は大人の冒険道具」というのも実にうなずける。

体力に自信がない人でも心配無用。常にガイド役のスタッフが自転車を追走し、ツアーによってはワンボックスカーが先回りして参加者のサポートに回ることも。途中でギブアップしても、バイクごと車に乗ってツアーを継続できるサービスまで用意されているのだ。険しい登り坂は車でスキップし、平坦な道で復帰するなんて臨機応変さも嬉しい。ガイドを務めるのは、マウンテンバイク・ダウンヒルの元プロ選手という経歴を持つ大橋さんと女性スタッフ

の長谷川さん。知識や経験も豊富だが、コミュニケーションをとりたいので初心者でも焦ることはない。E-バイクも含めて60台余の豊富なラインナップから、「キヤノンデール」や「トレック」など、愛好家垂涎の一台を選べる機会もそうないだろう。山本代表はサイクリングの魅力について「旅先をより深く知ることができず。自転車だと見える景色が変わるし(ガイドブックにはない)その先の楽しみが見つかりますよ」と教えてくれた。車で目的地へと向かい、自転車に乗り換えたら気の向くまま街を探索する。そんな旅のスタイルが、新たな発見や出会いへと導いてくれる。



1

自転車はガイドブックにはない
その先の楽しみが見つかる

絶景とグルメに農業体験 那須高原サイクリングツアー

「コンパクトなエリアに、関東平野の北の端から、奥羽山脈の南端まで見渡せる高台もあれば、開けた平地もあって色々な景色が楽しめます。それに自転車でしか入れない細い道も多いですし、道路は舗装されていて歩行者も少ない。自転車にとっては最高の環境だと思います。」

那須高原の自然と食を体験できるサイクリングツアーを企画する「ライドエクスペリエンス」代表の山本さんがそう力説するように、同エリアは好条件が揃った日本有数のサイクリングスポットである。

「ライドエクスペリエンス」では、参加人数や時間、立ち寄りスポット



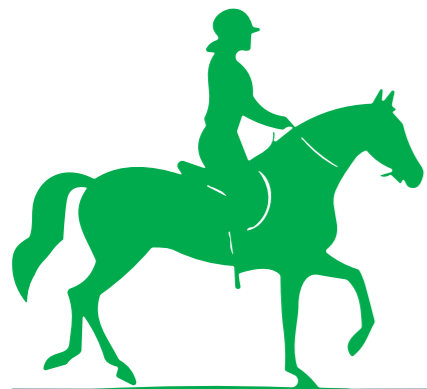
2

に応じて、多様なツアーを提案・催行する。例えば、里山エリアを走りながら野菜の収穫体験と農家ランチに舌鼓を打つ「那須里山ファームライド」や、牧草地の向こうにそびえる那須岳を感じながら、隠れ家的なスイーツやパンの名店を巡る「高原スイーツライド」に加え、宿泊地やスポットも含めてまるっとお任せするプライベートツアーにも対応。

なかでも家族連れに人気なのが、未舗装(砂利グラベル)の林道をファットバイクで駆け抜ける「林道グラベルライド」だ。約3時間かけて、溪流沿いや木漏れ日が差し込む森の中と、景色の良い舗装路を織り交ぜて走破するツアーは、アドベンチャー気分を掻き立て、子供はもちろんだ大人も童心にかえって夢中にな



3



HORSEBACK RIDING

保護馬が余生を過ごす牧場で癒しと生命の尊さに触れる

レースや競技を引退した保護馬が、豊かなセカンドライフを築くことを目的とした牧場が栃木県大田原市にある。馬たちと触れ合う特別なひと時は、動物と人間の共生可能な未来への示唆を与える。

Photography_Kunihisa Kobayashi Words_Tetsuya Sato



PORSCHE Panamera
キャララホワイト メタリック

2

NASU FARM VILLAGE

ナスファームビレッジ



1. 撮影日はあいにくの曇天だったが、「ホーストレッキングコース」では、馬上から遠くの山々や広大な扇状地を見渡せる。子供が騎乗し、スタッフが手綱を引いて誘導する「引き馬コース」も人気。2. 大パノラマを望むファームは、車を停めるだけでも「絵」になる。3. 美しい毛並みと恵まれた体躯、そして優雅な佇まいは神々しさを感じるほど。4. 新型ボルシェ・パナメーラの奥に見える白い建物が厩舎。洒落者である前オーナーのこだわりが窺える造り。手前の建物にはレストランとショップを併設。5. 馬が安心してのびのび暮らせるよう、様々な配慮がなされている。6. 春になれば満開の桜並木が出現。ファーム内を抜ける小道は、桜で覆われたトンネルのような幻想的な空間を生み出す。

馬上から大パノラマを望む 優雅なホースライドイング

年間約3,000頭。これは競走馬や競技馬が引退した後、その行方が不確かな数である。乗馬クラブや動物園などで新たなキャリアを歩むのは少数でその多くは、殺処分されてしまう。そうした状況を少しでも変えようと、2020年に設立されたのが「NASU FARM VILLAGE」だ。元々あった乗馬クラブの運営が行き詰まり、このままでは馬は殺処分、従業員も解雇されてしまうという窮地に手を差し伸べたのが、俳優・実業家の紗栄子さんである。保護犬活動にも尽力するなど、動物愛護精神に富んだ彼女は、クラウドファンディングを活用して土地ごと買い取



り、スタッフの雇用と馬たちの命を守ったのだ。

オープンから4年。今では、保護馬は16頭を数え、「餌やり体験」(1カプ 500円)や散歩とブラシでのケアを行う「セラピー体験」(45分 3,300円)、さらに、牧場から那須野ヶ原を眺望しながら、乗馬を楽しむ「ホーストレッキングコース」(1kmコース 8,800円)などを展開する。カフェやレストランの利用も含めて、週末には訪れる人々が引きも切らない。それでも、暑さに弱い馬たちのためにトレッキングを見送ったり、稼働し過ぎないよう調整したりと、馬の体調とコンディションが最優先。「保護馬の豊かなセカンドライフを築く」という目的が揺らぐことはない。個々の性



各種シーズンイベントの他に、不定期でワークショップやフォトセッションなども開催。オリジナルアイテムの情報も含めてインスタグラムでチェックを。

ファーム内に併設されたレストランでは、地元産の新鮮な野菜を使った特製ランチが人気。晴れた日の土日祝日だけオープンする「Weekend Café」も含めて、すべてのメニューがテイクアウト可能なので、場内でピクニックも楽しめる。ショップでは、ファームで収穫した野菜を使ったドレッシングや自家栽培のコーヒーを使用した黒糖ラテベースなどに加え、Tシャツや環境に配慮した素材を使ったオリジナルグッズやセレクトアイテムを取り扱う。

NASU FARM VILLAGE
 栃木県大田原市狭原1298-1
 ☎ 0287-54-0009 ☎ 080-4857-0974(乗馬予約専用)
 📱 20台 EV充電器 なし
 nasufarmvillage.com

格や得手不得手を尊重し、自信を取り戻した馬たちと、異世界を思わせる絶景の中で触れ合う機会は、癒し効果だけでなく、アニマルライツについて知識を深める一助となるだろう。

ファームの広報を務める柘田さんは「殺処分されているという事実を知る一つのきっかけになれば嬉しいですが、まずはお馬さんの魅力を沢山の人が気付いてほしいですね」と語る。

「ハイソな乗馬のイメージを無くして敷居を低くしたい」という紗栄子さんの意向からイベント開催時を除き入場料は無料。レストランでランチを堪能するもよし、カフェで一息つくもよし。売上の一部が保護馬

支援に寄付されるマーチャндаイズの買い物も含めて、馬と触れ合う以外にも楽しみ方は色々。英国式建築に做った重厚な厩舎やレンガ造りの建物、手入れの行き届いた緑地から成るイングリッシュガーデン調の趣は、ウエディングフォト需要を後押しする。

ただ、馬の飼育費用は高額で、怪我の治療やリハビリ代、さらに獣医やトレーナーといった専門スタッフの確保など、運営していくのは並大抵ではない。それでも行き場を失った保護馬のために初志を貫く。「将来的にはより多くの保護馬を引き取れるようしっかりと経済活動を確立したいですね」(柘田さん)。まだまだ手綱は緩みそうにない。

1

異世界を思わせる絶景で馬と触れ合い
アニマルライツについて知識を深める



HORSEBACK RIDING





garden AUX PARADIS
 栃木県那須郡那須町梁瀬434-4
 ☎ 0287-73-8600
 Open 10:00-18:00(季節によって変更あり)
 Close 月・火曜
 ♻️ 70台 EV充電器 なし
 auxparadis.com

1. カフェには、庭を眺めながらゆっくりとくつろげるオープンエアのテラス席を用意。2. 「パラダイスサラダ」は、グリルやポイルした野菜を和えた食べ応えのある一皿。添えられたスパイスチキンとハーブを効かせた爽やかなヨーグルトソースも好相性。3. ショップでは、AUX PARADIS」のボトルを繰り返し使えるよう、香水の量り売りも行う。

④ garden AUX PARADIS

人気パフューマリーが作った森の癒し空間

日本発のパフューマリー「AUX PARADIS」が運営する多目的ガーデン。ラベンダー畑や桜並木が四季折々の表情を見せる「庭」には、香水を販売するショップやカフェなどを併設している。穏やかな時間が流れる園内は、ピクニックコースとしても利用可能。草花の息吹を感じる季節の香りに乗せた風や、耳に届く鳥の声は、日々の忙しさをひと時忘れて気分をリフレッシュさせてくれる。研ぎ澄まされた五感に訴える、お気に入りの香りを見つけてみてはいかがだろうか。



⑤ 道の駅「明治の森・黒磯」

ここでしか買えない産直野菜と新鮮な乳製品

今年4月にリニューアルしたばかりの道の駅には、地元産の新鮮な野菜や果物が揃う。今の時期おすすめなのが、これから旬を迎える芋やレンコン、甘さを増した大根。また、那須塩原でも特に酪農が盛んな地

域とあって、ヨーグルトやソフトクリーム等の乳製品や発酵バター風味を生かした焼き菓子もここでしか味わえない銘品だ。さまざまな季節のイベントも見逃せない。加工品も多いのでお土産にも最適だ。

1. ダイニングで人気の「経産牛のハンバーグ」。2. 那須のシンボル「那須五峰」をモチーフにしたユニークな三角屋根。3. マルシェ（直売所）には野菜や果物以外に、お米や生花なども充実する。

道の駅「明治の森・黒磯」

栃木県那須塩原市青木27 ☎ 0287-63-0399 Open 8:30~17:00 (3~11月)、8:30~16:30(12月~2月) Close 第3火曜※8月無休 (3~11月)、火曜(12~2月) ♻️ 第一駐車場97台、第二駐車場60台 EV充電器あり meijinmori.jp



⑥ 汁飯香の店 隠居うわさわ

こだわりの「汁・飯・香」が揃った絶品朝ごはん

江戸時代初期から味噌・醤油醸造を生業としてきた「上澤梅太郎商店」が手掛ける朝食専門店。美しい庭園に囲まれた趣深い伝統家屋で提供されるのは、汁・飯・香。つまり、味噌汁、ご飯、漬物というシンプルで昔ながらの朝ごはん。土鍋で炊か

れたお米と「日光味噌」のお味噌汁、さらに「上澤梅太郎商店」が日本で最初に販売した極上のたまり漬けなど、どれも素材を吟味し、手間暇かけたものばかり。滋味深い味わいが心の豊かさをもたらす。わざわざ食へに行く価値ありの名店だ。

1. 土鍋炊きご飯、季節のお味噌汁、漬物盛り合わせ、手作り和菓子、ほうじ茶がセットになった「汁飯香」に、アラカルトの小皿を追加したもの。2. 表門に掛けられた白い暖簾が目印。3. 日光のお米にこだわったつややかなご飯は、一組ごとに土鍋で炊き上げる。

汁飯香の店 隠居うわさわ

栃木県日光市今市487 ☎ 0288-25-5844 Open 8:30~14:00 Close 火~金曜 ♻️ 30台 EV充電器 なし tamarizuke.co.jp/inkyu-uwasawa

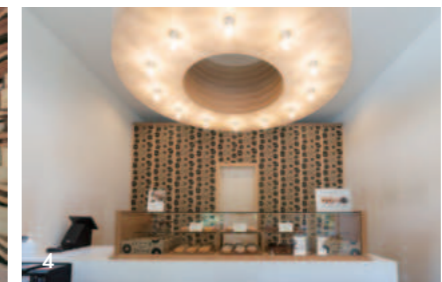


体を動かした後に立ち寄りたい 那須 & 日光ドライブスポット

県北部に位置し、東京から約2時間弱という好アクセスも魅力の那須・日光。サイクリングやホースライディングを楽しんだら、お腹を満たし、文化・歴史に触れて食欲と芸術の秋を満喫したい。訪れる価値のある6スポットを厳選。

Words_Tetsuya Sato

③ GOOD NEWS



1. 「GOOD NEWS DAIRY」のカフェエリア。2. 話題のスイーツ「バターのいとこ」。3. 「バターのいとこカフェ」人気のメニュー、ふふふドーナツ。4. 新たにオープンしたドーナツ専門店「いとこのドーナツ」。テイクアウトに最適。5. 酒粕を生地を使用したレモンケーキ「早苗蜜レモン（さなぶりれもん）」。6.7. 「BROWN CHEESE BROTHER」のハンバーガーとクッキーサンド。8. 尾道発のチョコレート専門店「USHIO CHOCOLATL」。9. 広大な敷地に魅力的なお店が揃う。

GOOD NEWS

栃木県那須郡那須町高久乙24-1
 Open 9:00~17:00 Close 第2木曜
 ※定休日や営業時間は店舗により異なる
 ♻️ 500台 EV充電器 なし gooodnews.com

「最旬」スポットで那須のスイーツを食べ尽くす

東京ドーム約1個分という広大な敷地の中に、酪農王国・那須ならではのミルクにまつわるショップが揃う「GOOD NEWS DAIRY」や、環境に配慮した事業を行う人気店が集結した「GOOD NEWS NEIGHBORS」を含む、3つのエリアからなる複合施設として、2022年にオープンした「GOOD NEWS」。羽田空港などで行列の絶えないお菓子「バターのいと

こ」那須本店を中心に、老舗旅館「山水閣」が手掛ける「那須プリン」や、那須の森林ノ牧場のソフトクリーム専門店「SOFTCREAM STAND」、高品質なチーズが国内外で評価を得る「那須の森 モッツアレラチーズ工房」、里山の恵みを活かしたタルト専門店「里山ワルツ」などが軒を連ねる。スポーツで疲れた体を、スイーツの優しい甘さで回復したい。

TOUCHの森

- 走っただけ森になる -

「TOUCHの森」プロジェクトとは

「TOUCHの森」とは巻頭のロードトリップの特集と連動した森林保全・再生を支援するプロジェクトです。

皆さんが本号で取り上げた各スポットを訪れた際に、デジタル版「TOUCH DRIVE MAP」でスタンプを押していただくと、その数も加算して、国際グループが森林保全と再生を支援する「Present Tree」のプログラムを通して森に植樹をいたします。またグループ社員が森林保全活動に努めており、既に50本近い白樺の苗木を植樹しています。



素敵なプレゼントも!

3つ以上のGPSスタンプと対象スポット付近で撮影された愛車のお写真を応募フォームよりお送りいただくと、抽選で素敵なプレゼントが当たります。



参加者
プレゼント

YOSEMITE CAMERA STRAP

クライミングロープで作ったヨセミテストラップ(日本製)。ドライ加工されたクライミングロープは汗や水に濡れても乾燥しやすくドライブ旅行にも最適。shop.extended.jp

編集部おすすめ的那須・日光のテーマ旅

DISCOVER NASU 対象:ご夫婦 / カップル / ファミリー

A

RIDE EXPERIENCE → GOOD NEWS → 道の駅「明治の森・黒磯」

オフロードバイクやロードバイクでじっくり汗をかいて、森の絶景を堪能した後は「GOOD NEWS」でスイーツやカフェを楽しみながら散策。最後に「道の駅 明治の森・黒磯」で新鮮な野菜や乳製品をお土産に。

那須、日光、ロイヤルロードを辿る 対象:ご夫婦 / カップル

B

NASU FARM VILLAGE → garden AUX PARADIS → 中禅寺湖(イタリア大使館別荘記念公園 & 英国大使館別荘記念公園) → 日光金谷ホテル

「NASU FARM VILLAGE」でホーストレッキングを楽しんだ後は、高原のパフェマリー「garden AUX PARADIS」で好きな香りを選んだり、野菜たっぷりのヘルシーなランチに舌鼓。午後は日光に移動し、紅葉が彩る中禅寺湖畔を散策しながらイタリア・イギリスの大使館別荘へ。宿泊は日本を代表するクラシックホテル「日光金谷ホテル」へ。

絶品朝ごはんスイーツの旅 対象:ご夫婦 / カップル / ファミリー

C

汁飯香の店 隠居うわさわ → RIDE EXPERIENCE → GOOD NEWS

日光「汁飯香の店 隠居うわさわ」で絶品の朝ごはんをいただく。おいしい朝食を食べたら一路那須高原へ。「RIDE EXPERIENCE」のE-バイクで高原サイクリングを楽しんだ後は、「GOOD NEWS」でスイーツ三昧のひと時を。



7 イタリア大使館別荘記念公園 英国大使館別荘記念公園



1. 湖越しに望む男体山や女峰山の紅葉は、息を呑む美しさ。2. 建築家アントニン・レーモンドが設計したイタリア大使の別荘本邸。格子柄のようなバターンを「杉皮張り」で仕上げた内外装や、湖の景観を生かした開放感あふれる広縁など、自然環境と調和したデザイン。3. 英国大使アーネスト・サトウの邸宅。奥日光をこよなく愛したサトウのこだわりを今に伝える。

イタリア大使館別荘記念公園
英国大使館別荘記念公園
栃木県日光市中宮祠 2482 ☎ 0288-55-0880
Open 9:00~17:00(4月、11月11~30日 は~16:00)
Close 12~3月、4月の月曜
英国・イタリア 単観券 ¥300、共通券 ¥450
📍なし(近隣にコインパーキングあり)

歴代の駐日大使が愛した 絵画のようなレイクサイドビュー

風光明媚な中禅寺湖畔には、明治から昭和初期にかけて多くの外国人別荘が建設され、避暑地として人気を博したという。イタリアおよび英国の大使館別荘記念公園は、かつて駐日大使が建てた別荘を復元したものの。モダン溢れる建築美もさることながら、園内から見渡せる中禅寺湖の絵に描いたような絶景が素晴らしい。双方とも邸宅内の見学は可能で、両国の伝統が息づく設えや高価な調度品など、歴史的資料としての価値も高い。各大使と日本の関わりや当時の文化・芸術を紹介した展示・映像コーナーに加え、英国はティールーム、イタリアはカフェも併設。在りし日のヨットレースの面影が残る棧橋を眺めながら、かつての優雅な暮らしに想いを馳せてみてはいかがだろうか。

8 日光金谷ホテル

明治初期への時間旅行に誘うクラシックホテル

明治6年創業の日光金谷ホテルは、国内外、各界の著名人が愛してきた現存する日本最古のリゾートホテル。日本の建築美に西洋の調度品が溶け込んだクラシカルな佇まいは、ゲストを壮大な時間旅行へと誘う。2023年にリニューアルした別館 ROYAL HOUSE には、かつてヘレン・ケラーが宿泊した客室など当時の趣を残す一方、窓から大谷川や

日光連山を望むスイートルームが新設された。客室は伝統様式を継承しながらも、現代の価値観に適合したラグジュアリーな空間へと昇華することを目指した。もちろん、格式高いダイニングで100年以上にわたり受け継がれたフレンチを楽しんだり、バー「デイサイト」で一献傾けたりと、宿泊以外の利用も可能。歴史が紡いだ物語を体感したい。



1. 左側が本館で、正面の木造建築が別館。他に新館と第二新館があり、多種多様な63の客室がある。2. 金谷ディナー(写真はイメージ)。中央は看板料理の「日光虹鱈のソテー 金谷風」。100年以上にわたって代々受け継がれてきた伝統のフランス料理が堪能できる。3. フロント奥にあるロビー。ここのライティングデスクで、アインシュタインや池波正太郎も手紙をしたためたのかもしれない。

日光金谷ホテル
栃木県日光市上鉢石町1300 ☎ 0288-54-0001 📍 50台 EV充電器2台
kanayahotel.co.jp/nkh



アウターが主役のドライブコーデ

〈メンズ〉上質なムートンをミリタリー調にアレンジした、質沢なフィールドコート。中にアルパカ×ウール混のジャケットを合わせることで、ドレスとカジュアルが融合した洗練されたスタイルが完成する。コート ¥1,886,500 ジャケット ¥1,113,200 (スーツ価格) Tシャツ ¥139,700 パンツ ¥145,200 ベルト ¥514,800 バッグ ¥830,500 靴 ¥199,500 〈レディース〉グレーの濃淡でまとめた洗練スタイルは、パートナーとのドライブ旅にも最適だ。バージンウールとシルク、カシミア素材のニットと、耐水性のあるナイロンを組み合わせたダウンは、着ているのを忘れるほど軽やかで暖かい。ダウンジャケット ¥572,000 ニット ¥309,100 パンツ ¥382,800 バッグ ¥313,500 靴 ¥181,500 (すべてブルネロ クチネリ/ブルネロ クチネリ ジャパン ☎03-5276-8300)

BRUNELLO CUCINELLI

SPORT HYBRID

スポーツマインドを宿した地で アクティブな最新服を身に纏う

1964年に開催された、東京五輪の会場であった駒沢オリンピック公園。広大な園内には、シンボリックな記念塔や陸上競技場、体育館などが建ち並ぶが、実はそのどれもが構造デザインに優れた名建築ばかりなのである。名建築とスポーツマインド、緑溢れる自然とテクノロジーが調和した空間は、アスリート達の情熱も内包した、パワフルでユニークなスポットだ。ここでは、そんな心躍る情熱の舞台で、アルチザンの伝統と最新ファブリックを駆使した、車乗りのためのハイブリッドなファッションをご紹介します。

Photography_Kentaro Oshio[model], Kevin Chan[still], Styling_Kohei Kubo (QUILT)

Hair & Make_Saori Hattori Words_Kaori Terasawa

Model_KENJI, Akane Kunio (NUMBER EIGHT)

愛車とリンクさせた装いで
一体感のあるドライブを

上質なカシミヤとウールブレンドのハイブリッド素材を使用し、上品な艶々感を演出したネイビーのジャケット。一着的に、カシミヤはウールに比べて耐久性があるが、ウールブレンドを取り入れた一着は、極上の肌触りはその上に、強度が増すうえ、ストレッチが効いて動きやすい。同じ生地の上質でトリックパンツとセットアップにすれば、トータルな雰囲気を洗練しながら格調なローレンスニットが映し出せる。カシミヤの質感とネイビーの車体が輝くインテリジェント・アルマニ・ニッという上品なネイビー・ワシントンスタイル。愛車との絶妙なリンクコーデは、ドライブには心掛かい一体感を演出する。ジャケット ¥261,800 ニット ¥114,400 パンツ ¥243,100 バッグ ¥182,600 靴 ¥122,100 (すべてステラ マッカートニー/ステラ マッカートニー カスタマーサービス ☎ 03-4579-6139)

RANGE ROVER
VELAR DYNAMIC HSE PHEV

ヴァレンシブルー



GIORGIO ARMANI

スポーツカーにも映える
洒脱なジャケットスタイル

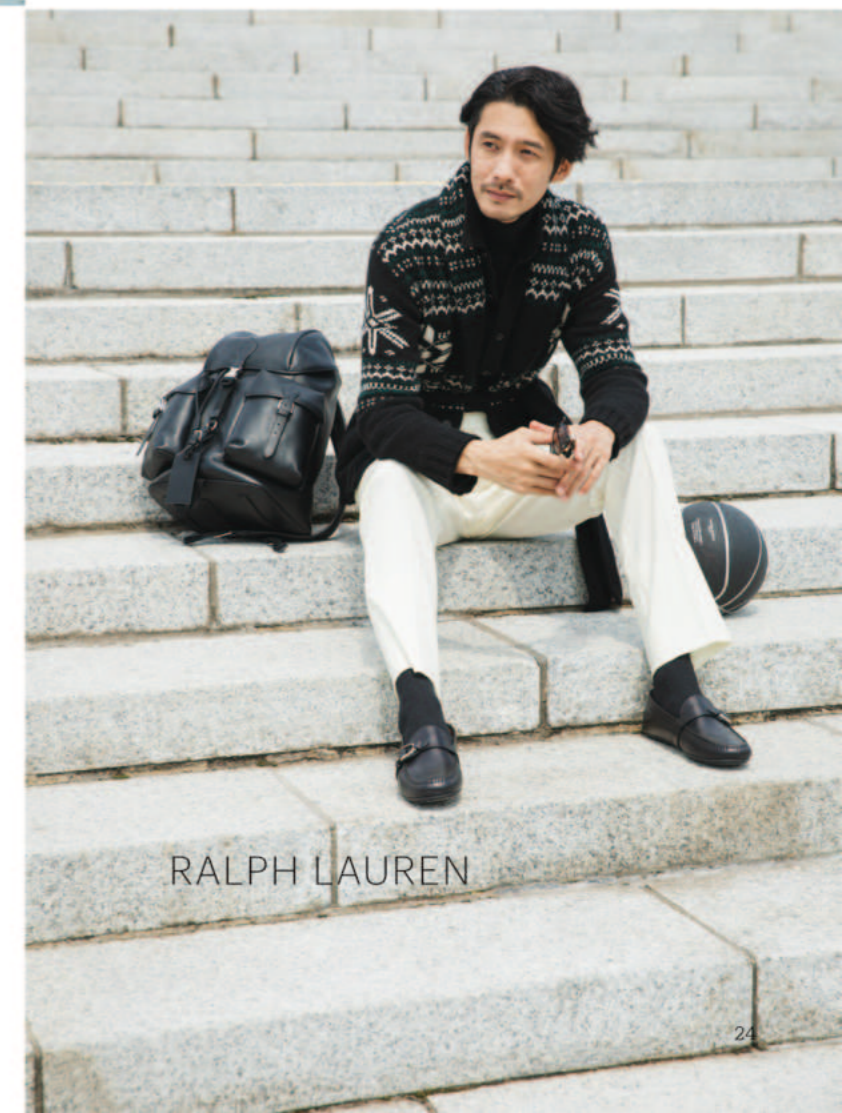
ピークドラベルのドレッシーなウールジャケットと、スポーティなジョーガーパンツのミックス感が絶妙なハイブリッドスタイル。ダブルプレストのジャケットは、ゆとりのあるワイドシルエットで、羽織るだけでこなれて見えるのが魅力だ。しなやかなほき心地がクセになるパンツは、自然環境に配慮した素材で、新時代のラグジュアリーを体現したデザイン。サイドのスナップボタンを外せば、足首がチャリと覗いてヘルシーな抜け感が醸せる。きちんと感はあるつつも、実は楽しんで着心地のいいスタイルは、アクティブなドライブシーンにもおすすめだ。ジャケット ¥261,800 ニット ¥114,400 パンツ ¥243,100 バッグ ¥182,600 靴 ¥122,100 (すべてステラ マッカートニー/ステラ マッカートニー カスタマーサービス ☎ 03-4579-6139)



STELLA McCARTNEY

紳士な品格が漂う
モノトーンコーデの真骨頂

ざっと羽織れて暖かいショールカラーカーディガンは、SUVで出かける週末旅のよき相棒となる。伝統的なフェアアイル柄は、ともするとアウトドアに寄り過ぎてしまうこともあるが、カシミヤのリッチな素材感と細身に仕立てられたシルエットの美しさが、柄の持つプリミティブ感をモダンに昇華させているのだ。ボトムは白のトラウザーパンツを合わせ、全体をブラック×ホワイトでまとめることで、リラックスとエレガンスが結合するジェントルスタイルになる。カーフスキンのバックパックも、都会とアウトドアを自在に往来するハイブリッドな名脇役だ。カーディガン ¥302,500 シャツ ¥314,600 ニット ¥184,800 パンツ ¥119,900 靴、バックパック、サングラス (すべて参考商品) (すべてラルフ ローレン パーブル レーベル/ラルフ ローレン ☎ 0120-3274-20)



RALPH LAUREN

JAGUAR F-PACE
R-DYNAMIC SE D200
オストローニパールホワイト



Bottega Veneta

エレガントにして機能的な 潔いブルゾンスタイル

ダークトーンでクールにまとめたブルゾンコーデは、モノトーンのジャガーの端正なデザインとマッチして、優雅な男らしさが際立つ。しっとりとした肌馴染みのいいナバレザーは、重厚感のある見た目とは裏腹にごく柔らかで軽く、意外な二面性を持っているのが面白い。アームホールは広く、身幅にゆとりがありつつ着丈は短めなので、ハンドル操作を妨げず着用したままの運転も可能だ。肩のエポレットや両胸に施された大きなフラップポケットなど、技のあるディテールが映える一着は、車を停めてちょっと外へという時にもサマになる。ブルゾン ¥1,057,100 シャツ参考商品 タイ ¥77,000 パンツ ¥173,800 ベルト ¥99,000 靴 ¥167,200 (すべてポッテガ・ヴェネタ/ポッテガ・ヴェネタ ジャパン ☎ 0120-60-1966)



BERLUTI

FABIANA FILIPPI

贅沢な素材感で魅せる カジュアルの現在形

〈メンズ〉卓越したテラリングの技に裏打ちされた仕立てのいいダウンベスト。ヘリンボーンのウールツイード素材で、スポーティなだけに終わらないトラディショナルな大人の品格を備える。ダウンベスト ¥466,400 シャツ ¥198,000 Tシャツ ¥163,900 パンツ ¥129,800 ベルト ¥161,700 コート ¥742,500 靴 ¥390,500 (すべてベルルッティ/ベルルッティ・インフォメーション・デスク ☎ 0120-961-859) 〈レディース〉“Gジャン”とミドルゲージニットを組み合わせたような、遊び心溢れるデザインが新鮮なブルゾン。ミディ丈のタイトスカートできちんと感をプラスし、キレイめカジュアルに仕上げるのが正解。ブルゾン (店舗限定) ¥379,500 ニット ¥108,900 スカート (店舗限定) ¥253,000 (すべてファビアナフィリッピ/アオイ ☎ 03-3239-0341) 靴 (スタイリスト私物)

大人のための肩肘張らない リラックス&エレガンス服

〈メンズ〉シンプルさを極めたヴァージンウールのトレンチ。ラグジュアリーでありながら決して主張し過ぎない洗練感を生む、オーバーなサイジングが魅力だ。コート ¥581,900 カーディガン ¥768,900 ブルオーバー ¥328,900 パンツ ¥295,900 バッグ ¥409,200 靴 ¥313,500 (すべてザ・ロウ/ザ・ロウ・ジャパン ☎ 03-4400-2656) サングラス ¥49,500 (アイヴァン/アイヴァン 東京ギャラリー ☎ 03-3409-1972) 〈レディース〉美しいハリ感と軽やかさを兼ね備えたテクニカルコットンを採用。アウトドアとモードが融合したデザインは唯一無二の存在感を放つ。コート ¥592,900 ニット ¥229,900 パンツ ¥262,900 バッグ ¥438,900 靴 ¥372,900 (すべてザ・ロウ/ザ・ロウ・ジャパン ☎ 03-4400-2656) サングラス ¥39,600 (アイヴァン/アイヴァン 東京ギャラリー ☎ 03-3409-1972)

THE ROW



MooRER

ストレッチが利くウールカシミアのドロースtringパンツと、大きなフラップポケットが付いたコットン×ポリウレタン混のカーゴパンツ。サルトリアの技術が生かされたアイテムは、きちんとしながらリラックスしてはける、大人に相応しい名品だ。上にダウンジャケットを合わせれば、今どきのこなれ感が漂う紳士なドライブコーデが完成する。ドロースtringパンツ ¥132,000 カーゴパンツ ¥165,000 (ともにムーレー/コロネット ☎ 03-5216-6521)



10 eyevan

付属のクリップを付け替えて、メガネからサングラスへと自在にチェンジできるクリップオンメガネ。モダンなプラスチックフレームとアンティークゴールドのリムの異なる素材の組み合わせは、顔まわりに新鮮なムードを演出する。偏光レンズを採用しているので、車を運転する際も、路面やフロントガラスの日差しの反射を気にせずに過ごせる。クリップオンメガネ ¥84,700 クリップ ¥35,200 (ともに10 アイヴァン/アイヴァン PR ☎ 03-6450-5300)



MANOLO BLAHNIK

マットなスエード×艶やかなシュリンクレザーのブーツと、パテントレザー×ツイードのバンプス。洗練されたグレーの足元で揃えたさり気ないカップルコーデは、ツーリングの後、レストランで食事をするシチュエーションにもピッタリだ。マノロ ブラニクならではの、品格のある流麗なフォルムも美しい。〈メンズ〉靴 ¥185,900 〈レディース〉靴 ¥156,200 (ともにマノロ ブラニク/ブルーベル・ジャパン (ファッション事業本部) ☎ 03-5413-1050)



ASPESI

シャツ感覚で気軽に羽織れる中綿入りのブルゾン。極薄ながらも保温性があり、軽くてシワにもなりにくいコンフォータブルな仕立てが車乗りにもピッタリだ。アウターとして着るだけでなく、コートのインナーにもなる汎用性も優秀。シンプルかつミニマルなムードのデザインは、スポーツカーの洗練感にもよく似合う。〈メンズ〉ブルゾン ¥63,800 〈レディース〉ブルゾン ¥52,800 (ともに アスベジ/トヨダトレーディング プレスルーム ☎ 03-5350-5567)



HUNTING WORLD

ハンティングワールド初のハードシェルトrolleyバッグである“シリウス”。ブランドの伝統を受け継ぐ、ヌメ革のサイドハンドルのプリミティブさと、最新のテクノロジーを搭載したポリカーボネートのスタイリッシュさという、相反する組み合わせが斬新だ。ハニカム構造のエンボス模様は、傷が付きにくいだけでなく、衝撃を分散するため耐久性にも優れている。トrolleyバッグ ¥148,500 (ハンティングワールド/ハンティングワールド帝国ホテル店 ☎ 03-3501-7080)



ZEGNA

グリーンをベースに多彩な色をブレンドした、メランジュの風合いが美しいジャケット。独特なヌメリのある肌触りが心地よいカシミアフランネルを使用しており、さらりと羽織れる軽やかさと、気品を感じさせる佇まいが魅力だ。ボタンを留めてスタンドカラーとして着るだけでなく、襟元を少し開ければテラードジャケット風にも着こなせ、一枚あるとコーデ幅がぐっと広がる。ジャケット ¥790,900 (ゼニア/ゼニア カスタマーサービス ☎ 03-5114-5300)



HERNO

フラップポケットをあしらったダウンの身頃部分はシルクカシミア素材、袖の部分はウールニット素材を用いて、機能性と着心地のよさを両立させたダウンジャケット。ジェントルな品格と清潔感溢れるアイボリーのダウンは、裏地にブランドのHモノグラムがチャリと覗くデザインも洒落ている。ダウン生地は撥水加工が施されており、アクティブな車旅にもおすすめです。ダウンジャケット ¥316,800 (ヘルノ/ヘルノ・ジャパン ☎ 03-6427-3424)



TOD'S

ドライビングシューズの王道である“ゴムミニニ”は、時を超えて愛される名品だ。今季は、靴裏までヘアカーフで大胆に覆ったメンズシューズと、甲に正統感のあるピットを施した配色コンビのレディースシューズが新作として登場。スポーティでありながらエレガントに見える高機能な靴は、運転する楽しさを倍増させるキーアイテムとなる。〈メンズ〉靴 ¥113,300 〈レディース〉靴 ¥102,300 (ともにトッズ/トッズ・ジャパン ☎ 0120-102-578)

体験や観戦以外の価値を生み出す“東京スポーツ名建築”

オリンピックに向けて作られた競技場やプロスポーツチームの本拠地など、東京にもスポーツ×名建築は多い。名匠が手掛けた傑作から物語を宿すモニュメントまで、4つのテーマに分けて紹介。

Words_ Tetsuya Sato

名勝負の舞台や聖地でなくとも、新たな価値を付与するスポーツ建築は存在する。例えば、アジア初開催となった東京オリンピック1964。60年経った今でもその名残は都内のあちこちに見て取れる。原宿にある五輪橋もその一つ。陸上や柔道といった「お家芸」のレリーフ、さらに日本を代表するグラフィックデザイナー・亀倉雄策のエンブレムが「遺産」としての東京五輪を記憶に留める。意外だが、代々木公園もまた64年大会との関係は深い。メインの選手村として使用されており、現在も選手宿舎の一部が当時のまま残されている。近年の近代的な宿舎とは隔世の感もあるが、オリンピックの商業性が色濃くなったのは1984年のロス大会以降であることを考えれば簡素な作りなのも理解できる。

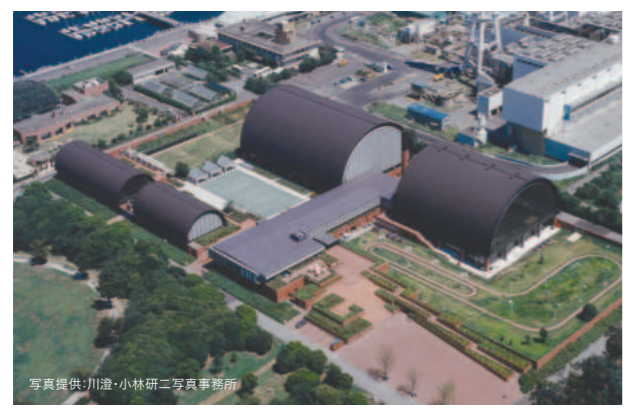
東京2020オリンピックをきっかけに様変わりしたのが、旧有明体操競技場と馬事公苑だ。馬術競技の舞台となった馬事公苑は、7年をかけて全面リニュアル。今では芝生広場やカフェなどを備え、地域住民の憩いの場として親しまれている。パラリンピックも含めて体操やトランポリン競技が行われた旧有明体操競技場は、五輪終了後に仮設の客席部分を撤去。大規模イベントなどが開催される国際展示場「有明GYM-DX」として生まれ変わった。

新国立競技場のコンペに際し、環境への配慮が重要視されたように、現代において避けては通れないのが持続可能性だ。施設内の温水プールや冷暖房の熱源は、隣接する清掃工場のごみ焼却により作られた高温水を利用するBumB 東京スポーツ文化館。そして、外気を取り入れ、自然換気を促す構造を採用する大田区総合体育館は、その好例である。

“過去と未来”という視点を加味すれば、往年の名建築家が手掛けた岸記念体育会館と、2025年に竣工予定のトヨタアリーナ東京は、新旧を象徴するスポーツ建築といえよう。

そして、オリンピックが契機になったという意味では、首都高速道路は外せない。当初は、飽和状態の街路交通を改善する目的で計画されたが、東京大会の開催が決定すると、国家の威信をかけて急ピッチで工事が進められた。次ページでは、そんな首都高の成り立ちを振り返る。

SUSTAINABILITY



BumB 東京スポーツ文化館

竣工:1976年 設計者:坂倉建築研究所

各種スポーツ施設に加え、音楽スタジオ等の文化・学習施設、さらに宿泊機能まで備えた複合型施設。半円形の室内プールおよび屋内運動場の屋根には、塩害の影響を考慮し、耐候性高張力銅板を採用。ヴォールト屋根の外観が隣接する焼却炉と切り離され、景観との一体感を創出した。重厚な外構に対し、両端のガラスウォールが開放感を担保する。



大田区総合体育館

竣工:2012年 設計者:石本建築事務所

全高を低く抑えるためアリーナを地下に配置。狭い敷地に合わせて有機的なラインを描く外構も含めて、住宅が密集する周辺環境に圧迫感のない建築を実現した。外周面に配した「V」の字の柱や屋上の緑地といった開放感のある作りも街並みとの調和に寄与する。固定席の他に移動可能な観覧席を設置することで、プロリーグから市民レベルの試合までフレキシブルに対応可能。

PAST & FUTURE



トヨタアリーナ東京

竣工:2025年6月予定 設計者:鹿島建設

お台場「バレットタウン」跡地に開業予定の「トヨタアリーナ東京」。男子プロバスケットボールB.LEAGUE BI 所属「アルパルク東京」のホームアリーナとなる本施設は、楕円形のアリーナやドレープ状のファサードが特徴。飲食を楽しめる各種ラウンジや、臨場感溢れる観戦が可能なテラス付きスイートルーム等が充実。トヨタ独自の「未来的モビリティサービス」も計画されている。



岸記念体育会館

竣工:1964年 設計者:松田平田建築設計事務所

日本体育協会（現 JSPO [日本スポーツ協会]）や各競技団体の本部が集まった岸記念体育会館。写真は、1964年に移転した二代目の建物で、日本銀行本店やニュー新橋ビル等を手掛けた松田平田建築設計事務所が設計を担当。工場で作成したコンクリート部材を現場で組み立てるプレキャスト工法のカーテンウォールの外観が目立つ。2019年に施設の機能を移転し、翌年解体された。

LEGACY



代々木公園

竣工:1946年(ワシントン・ハウス設立時) 設計者:非公表

現在は、周辺住民の憩いの場である代々木公園だが、1964年まで1万人近い米軍兵士とその家族が暮らす住宅「ワシントン・ハイツ」が存在。東京1964大会では、その跡地に選手村の代々木本村を設けた（分村は相模湖や軽井沢などに設置）。写真のオリンピック記念宿舎は、オランダ選手の宿舎だったので、外壁を塗り直した以外は、ほぼ当時のまま園内に現存する。



五輪橋

竣工:1964年 設計者:非公表

競技場などが点在する代々木エリアと明治公園エリアを結ぶ道路整備の際に、山手線の線路をオーバーパスするために架橋された五輪橋。1993年にリニューアルされ、親柱に鎮座する地球儀は、東京大会のスローガン“世界は一つ”を表現したもの。欄干にあしらった競技のレリーフに加え、東京大会のポスターを手掛けた名匠・亀倉雄策デザインのエンブレムが飾られている。

REBORN



有明体操競技場

竣工:2019年 設計者:清水建設(実施設計)、斎藤公男(技術指導)

東京2020オリンピック終了後に、国際展示場として生まれ変わった有明体操競技場。外装や屋根架構などに木材を多用したデザインは、かつて貯木場であったこの場所の記憶を顕在化したもの。天井に採用された木造の架構形式は、建物全体の軽量化を目的とした意匠だが、機能美に帰結する。木材が有する遮音性や断熱性を活かすなど、木造建築に熟知した日本の職人技術が光る。



馬事公苑

竣工:2023年(リニューアル時) 設計者:高木賢治(山下設計)

東京五輪で馬術競技が行われた馬事公苑は、2023年11月にリニューアル。3階建てのメインオフィスには、馬術の歴史を学べるギャラリーや乗馬を疑似体験できるホースシミュレーターを設置。馬の動線を広く確保した作りや苑内のいたるところにベンチ、水飲み場を設置するなど、ユニバーサルデザインが通底する。蟻継ぎ加工の板材を使ったソニーハウスなど建築的な見所も多い。

五輪成功への想いが結実した「首都高速道路」ヒストリー

Photography_Kunihisa Kobayashi Words_Tetsuya Sato

1. 徳川家康が経済や物流の要所として、江戸と主要都市を結ぶ五街道の起点に据えたのが日本橋。当時、陸路と水路が交差する中心であったアーチ橋の上を、今では首都高が走る。2040年を目処に地下ルートが完成し、高架も撤去される予定だ。2. 密集市街地を抜ける、連続した立体道路である首都高は、その構造上約95%を高架下やトンネルが占める。橋脚の間から覗く高層ビル群が非日常感を演出。3. 首都高八重洲線。直下にある銀座コリドー街の喧騒をよそに、自分だけの世界に没れるのもナイトクルーズの魅力だ。4. 年季の入った橋梁とラグジュアリーなレクサス LC500 のコントラストが、多面的な「東京」らしさを醸す。



LEXUS LC500 Convertible
ラディアントレッド



高度成長時代を迎え、街路交通の機能不全を防ぐために構想された首都高速道路。その計画を後押ししたのが、1964年の東京オリンピックだ。1959年に東京開催が決定すると、関連施設と羽田空港を結ぶルートを優先的に整備。3年後の1962年12月に開通した京橋〜芝浦間を皮切りに、羽田から江戸橋ジャンクションや「世界初の地下JCT」三宅坂ジャンクションを経て、国立競技場と選手村のある代々木までを結ぶ約33kmが開通したのは、開会式のわずか9日前のことである。5年足らずで完成できたのは、各都府県や自治体、民間企業の垣根を超えた技術者たちの叡智と作業員のマンパワーであり、「東京五輪の成功」という気運の高まりであった。



心安らく大地のようなキャメルカラーは、ダウンをシックに着こなしたい女性におすすめだ。シルクタッチの超軽量ダウンと、ウールカシミアのコンビがハイブリッドな「MARYEL」は、アーバンドライブにほどよいきちんと感を演出する。リッチな黒蝶貝のボタン使いもポイント。ダウンジャケット「MARYEL」 ¥379,500 (ムーレー/コロネット)



1. ジップやボタンなどのパーツもすべて自社製にこだわるムーレー。細部に至るまで美意識の高さを感じさせる。
2. 前立て部分は取り外し可能で様々な表情が楽しめる。

優れたデザインと機能性は、ドライブシーンにもマッチ

ムーレーの卓越したクリエイティブティは、機能性の高さや、工夫に富んだディテールにも反映されている。各モデルには、防寒や撥水といったテクニカルファブリックが多様に用いられ、タフな環境下でも快適性を発揮する。また、袖やフード、前立てといった、取り外し可能なパーツを備えたモデルも充実しており、多彩な着こなしがアレンジ出来る。例えば、オープンカーでのドライブや、SUVでの週末旅など、寒暖差や急な悪天候にも柔軟に対応できるアウトターは、車乗りの心強い相棒となるはずだ。今季は「アウトドア」をテーマの一つに掲げ、豊かな自然を想起させるニュートラルカラーのアウトターが豊富にラインナップ。身も心も優しく包む極上の洗練アウトターを主役に、色づく季節のカラーイフを素敵に楽しんでいただきたい。

MooRER

ドライブシーンを洒脱にする イタリア最高峰アウトター

アルチザンの技術を随所に生かしたダウンジャケットは、ドライブスタイルに大人の気品と洗練感を与えてくれる。

Photography_Kevin Chan Edit & Words_Kaori Terasawa



こなれたグレーカラーがスタイリッシュな一着は、人気モデル「CATTANEO」の新作。上品な艶感が美しいキルティング地は防水性があり、多少の雨なら気にならない。防寒性はしっかりありつつも、袖部分がニットジャージーで運転しやすく、スポーツカーにもマッチする。ダウンジャケット「CATTANEO」 ¥319,000 (ムーレー/コロネット)



優れたデザインと機能性は、ドライブシーンにもマッチ

2006年にイタリア・ヴェローナで創設されると、たちまち伊達男のハートを鷲掴みにしたムーレー。今ではイタリア最高峰のダウンブランドとしての地位を確立しているが、全世界で熱烈な支持を得る理由は、完璧主義とも言える徹底したモノづくりへの姿勢にある。常に最上のもので提供するために、ムーレーは100%メイド・イン・イタリアを製作の全工程に貫く。肝となるダウンは、厳格な国際基準 UNIENI 2934を満たし、最高レベルのフィルパワー(還元率)を誇るグースの羽毛を採用。さらに、この上質な羽毛を95%以上も中綿に備えながら、熟練のサルトリアの技術によって、気品漂う立体的なシルエットに仕立てているのだ。品質に一切の妥協を許さないエレガントなアウトターは、違いの分かる大人にこそ相応しい。

優れたデザインと機能性は、ドライブシーンにもマッチ



1. ジャケットの内側には、着用に適した温度帯を示すラベルが施されているのがムーレーならではの。2. 裏地はパインギンが施され見えにくい部分にも配慮がなされる。

4. 前身頃と襟の部分にスペイン産のヘアシープを贅沢に使用。バージンウールのニットカフスや、シルクのようなマイクロファイバー地のダウンなど、表情豊かな素材をMIXしたジャケットは、優雅な存在感を放つ。クリーミーで洗練された白にゴールドのダブルジッパー使いも上品。ダウンジャケット「NAUSICIA」¥1,210,000 5. ほどよい光沢感があり、しっとりとした肌触りが心地いいクロップ丈のベスト。ゴールドのダブルジッパーを効かせた気品あるベージュのダウンは、アウトドアに寄りすぎず、カプリオレといった都会的なオープンカーにもよく似合う。ダウンベスト「MAILLE」¥220,000 6. 夕景のような落ち着きのあるピンクベージュが印象的なモデルは、車旅をお洒落に盛り上げる。ヨークと身頃の上部だけ幅の細いキルティングを施した、立体感のあるショート丈の仕立てで、スポーティかつモードに着こなせるのが魅力だ。顔周りをすっきり見せる、大きなハイネックの襟もエレガント。ダウンジャケット「RIPOLI」¥324,500(すべてムーレー/コロネット)



Women's



Men's



秋のロードトリップで着たい おすすめ洗練アウター

ドライブや車旅の楽しい気分を後押しする、機能とお洒落を兼ね備えたアウターを厳選して紹介したい。



1. -50℃まで対応する「HELSINKY」を、日本の気候に合わせて-25℃まで対応する仕様にリモデルした「SAPPORO」。耐久性と防水性に長けたタフな1着は、ロングツーリングや旅行のお供にぴったりだ。シープスキンの襟やラクーンファーのトリム、フードといったパーツがそれぞれ取り外せ、幅広い着こなしを楽しめる。ダウンコート「SAPPORO」¥528,000 2. シルクのように艶やかで柔らかい超軽量ダウンと、ニットジャージーをコンビにしたハイブリッドジャケット。肩が凝らない軽さと、ストレッチの効く袖で動きやすいだけでなく、すっきり見えてエレガントに決まるのが嬉しい。袖口やウエスト周りのハイゲージジップも上品で、体温を逃さず冷気をシャットアウトする。ダウンジャケット「LENZ」¥363,000 3. さっと脱ぎ着が出来動きやすいベストは、スポーツカーでのドライブに最適だ。撥水機能も備えているから、突然の雨に見舞われた際も頼りになる。スタンドネックのスマートなデザインで、ジャケットやコートのインにも重宝する。ダウンベスト「VANDO」¥190,300(すべてムーレー/コロネット)



MooRER GINZA

中央区銀座 4-3-13
☎ 03-6228-6041
Open 11:00 ~ 20:00
moorer.clothing/jp/ja/



ランゲ1

A.ランゲ&ゾーネの復興第一弾モデルのひとつとして1994年にリリース。アシンメトリーのダイヤルデザインや大きなアウトサイズデイト、丁寧に仕上げられたムーブメントなど、伝統的な手仕事とモダンな感性が融合し、ブランドのアイコンとして人気を集める。モノトーンの中で美しい存在感をつくるダイヤルの素材はホワイトゴールド。搭載ムーブメントは、自社製のCal.L121.1。手巻き、18KWG ケース、ケース径 38.5mm、¥6,105,000

ドイツの
エンジニアリングを
腕元で味わう
心地良い日常

歴史を紡いで到達した ドイツウォッチの頂点

歴史の始まりは1845年。フェルディナント・アドルフ・ランゲ（以下、初代ランゲ）は、独立し、ドレスデン近郊の街グラスヒュッテにて時計工房を開いた。初代ランゲは高い品質の時計を効率よく製造するために統一規格を定め、各工房で製作するパーツを共用できるようにした。いかなれば町全体をひとつの工場に見立てたのだ。

また高級時計にふさわしい仕上げや細工にもこだわった。その代表例が、パーツをがっちりおさえて強度を高め、埃の侵入も防ぐ「3/4プレート」であり、人工ルビーの穴石を美しく見せる「ゴールドシャトン」であり、そして手仕事の素晴らしさを表現する「テンプ受けの彫金」だった。こういったスタイルが評判となり、ディテールを見ただけで、「これはA・ランゲ&ゾーネの時計だ」とわかるほどの知名度を得たという。

しかしこの栄光の歴史は、東西冷戦の荒波のなかで一度は失われ、東独政府下で国営化という苦境に陥ってしまう。それでもA・ランゲ&ゾーネの伝統は継承され、1990年の東西ドイツ再統合をきっかけに、再び蘇った。つまり1845年から

A. LANGE & SÖHNE

伝統×進化から生まれた、ドイツ時計のマスターピース

ドイツの名門時計ブランド「A.ランゲ&ゾーネ」の象徴モデル「ランゲ1」が30周年を迎えた。30年という歴史は短いかもしれない。しかしこの時計には1845年から続く伝統と進化の物語がある。

Photography_Takeshi Hoshi Words_Tetsuo Shinoda Illustration_Kenji Oguro



右上:ムーブメントを覆いつくす「3/4プレート」。耐衝撃性などは優れるが、組み立ては非常に難しい。中上:歯車など軸を支え、円滑に回転させる穴石をゴールドパーツで支える「ゴールドシャトン」。青焼きのネジで固定する。左上:「テンプ受けの彫金」は、現在は5名の彫金師が担当。右下:初代ランゲが、師匠と製作したゼンパー歌劇場の5分時計からインスピレーションを受けて考案された「アウトサイズデイト」。中下:時刻表示をずらし、余白にスモールセコンドなどを配置。視認性を高める。左下:「DOPPEL」は2つ、「FEDERHAUS」は香箱の意味。2つの香箱を搭載して、72時間というロングパワーリザーブを実現。

歴史の積み重ねが、現代的な時計製造技術と出会い、進化発展する形で現在の「ランゲ1」へと結びついたということだ。

1994年にデビューを果たしたランゲ1は、初代ランゲへのオマージュを込めた「アウトサイズデイト」や視認性を高める左右非対称のレイアウト、また「ツインバレル」によるロングパワーリザーブといった、新しいA・ランゲ&ゾーネのスタイルを構築した。その完成度の高さゆえデビューから現在までデザインは変わらず、2015年にムーブメントをCal.L121.1へと進化させた際も、瞬間切り替え式のアウトサイズデイトや自社製ヒゲゼンマイの採用など実用的なアップデートだけで、外見上の変化はない。しかしそれで十分なのだ。

ランゲ1とは、1845年から継続される伝統に、1994年から始まった新たな進化を掛け合わせたものであり、伝統と革新を両輪とするドイツのエンジニアリングを味わうことができる唯一無二の時計といえよう。今年にはアニバーサリーということもあり、次なる進化にも期待が集まっている。最新のランゲ1はどうなるのか？ 過去と今をつなぐ存在として、時計愛好家を引きつけてやまない。

NASCAR



全米ナンバー1のモータースポーツ

観客動員数では全米ナンバー1の人気シリーズのNASCAR。その最高峰カテゴリーのカップシリーズに参戦しているのはトヨタ、シボレー、フォードの3社だが、規則に従い共通シャーシを用いており、エンジンとボディパネルなどを独自開発する。戦いの舞台はオーバルコースが大半を占める。レースは大迫力のサウンドとドラフティングと呼ばれるスリップストリームを使った、抜きつ抜かれつの展開で最後まで予断を許さない。加点だけではなく減点も存在するポイントシステム、プレーオフの採用など高いエンタテインメント性も魅力。

WRC



大自然に挑むラリーの最高峰

舗装路だけでなく砂利道や雪道など、様々な路面の一般道を舞台に競い合うモータースポーツがラリー。したがって観客は沿道から競技を観戦するのが一般的。ポジションではなく走行時間を競うスピード競技となる点も特徴的。そんなラリーの頂点に君臨するのが世界ラリー選手権、WRCだ。現在、WRCの最高峰カテゴリーに挑戦しているのはトヨタ、ヒョンデ、Mスポーツ（フォード）の3社。車両はBセグメントに属するコンパクトカーだが、荒地を高速で走行するためにサスペンションストロークは驚くほど長く、4WDを採用。全車共通のハイブリッドシステムを用いる点も興味深い。

Formula 1



世界最高峰のスプリントレース

いわずと知れた世界最高峰のモータースポーツ。世界最高の技術を用いて作られたフォーミュラカーを世界最高のドライバーたちが操る姿に世界中が熱狂する唯一無二のレースシリーズがフォーミュラ1世界選手権だ。現在のマシンは、V6 1.6リッター・ターボエンジンに2種類のハイブリッドシステムを組み合わせた超ハイテク・パワートレインを搭載。最高出力は1000psに限りなく近いものの、熱効率率は50%を超えている模様（量産車のハイブリッド車でも熱効率率は40%程度）。日本からはホンダがレッドブルを通じてパワーユニットを供給。フェラーリやメルセデスを凌ぐ戦績を残している。

世界のモータースポーツの現在地

私たちがドライブする車にはモータースポーツで得た技術が惜しみなく注がれている。今もスプリントや耐久レース、オフロードレースなど、地球のどこかでレースが行われ、ライバルと競い合っ膨大な走行データと脱めっこしながら技術を磨いている車やチームがいる。多彩なモータースポーツシリーズの存在は、じつは私たちにとってとても心強いものなのだ。

Words_Tatsuya Orani

“レースは
チェッカーを
受けるまで
わからない”

多くの先人たちが語った名言。だからこそ人はレースに熱狂し、ときに落胆を、ときに歓喜を味わってきた。これをモータースポーツの本質であろう。

SUPER GT



国内最高峰のスポーツカーシリーズ

1994年創設の全日本GT選手権を前身とするレースシリーズ。2005年にSUPER GTとして再出発を切った。特徴的なのはGT500とGT300の2クラス制をとっていること。このうちGT500はトヨタ、ホンダ、ニッサンが開発した専用マシンを投入。市販車に似た形状の車両としては世界最速レベルの性能を誇る。GT300はレクサスをはじめとするGT3車両と日本独自規定の車両の混走。レースは、GT500がGT300を追い抜きながら、それぞれがクラス内の戦いも演じるという二重構造となる。サクセスウェイトと呼ばれるハンディ制度により「ひとり勝ち」が難しい点も魅力のひとつ。

WEC



ル・マン24hを含む最高峰の耐久シリーズ

正式名称は世界耐久選手権。中東、欧州、南北米など転戦する全8戦は大半が6時間レースとなるが8時間や1812kmなどの変則フォーマットもある。その頂点がル・マン24時間である。レース専用開発されたハイパーカーと、市販車に近いGT3車両をベースにしたLMGT3が混走。世界選手権らしいハイレベルな戦いを繰り広げる。ポルシェやフェラーリ、日本からはトヨタが小林可夢偉や平川亮とともにハイパーカー・クラスにエントリー。LMGT3クラスにもレクサスRC F GT3の参戦や、宮田莉朋を含め複数の日本人ドライバーが参戦中。9月には富士6時間が開催された。

Formula E



フルEVによる次世代レースシリーズ

世界初の電動フォーミュラカーを用いたシリーズとして2014年に設立されたフォーミュラE。排ガスも目立った騒音も出さないため、パリやロンドン、東京など都市部で開催できることが最大の魅力。コンサートや各種アトラクションを併催し、レースファンだけでなく様々な層に楽しんでもらおうとする工夫が凝らされている。ポルシェ、ジャガー、マセラティ、ニッサンなど参戦する自動車メーカーが計6メーカーに上る点も注目。レースはバッテリーに蓄えられた電力をいかに効率的に使って最後まで逃げ切るかで勝負が決まる。今年3月には東京でも有明地域の公道で初開催された。

Porsche Team EBIの現在地

日本国内で争われているモータースポーツのうち多くの車種が集い、プロとアマチュアが組み戦うのがENEOSスーパー耐久シリーズ。第5戦鈴鹿で今季初優勝を飾ったPorsche Team EBIはなぜこのレースに挑戦を続けるのか。

Photography_Hiromitsu Yasui (Race, p42-43, 45), Etsuko Murakami Words_Ryuji Hirano



「モータースポーツは限界に挑戦するアンリミテッドなものだと思われるかもしれませんが、実際は限られた時間の中で、針の穴を通すような、正確な作業を繰り返すことなのです。そうして磨いた技術がお客様の車の整備にも活かされているのです」とメカニックは語る。

モータースポーツは 人材育成の場である

ポルシェの長い歴史のなかで、切っても切り離せない関係にあるのがモータースポーツだ。ル・マン24時間レース最多となる19勝をはじめ、現代では電気自動車によるフォーミュラEへの挑戦など、ポルシェの市販車に採用されている数々の革新的な技術がサーキットから生まれてきた。ポルシェの歴史を築いてきたのはレースであり、まさにポルシェのDNAでもある。

近年では各レースの参戦車両には、主催者による性能調整がなされ、技術面のブレイクスルーは生まれづらくなっているが、それでもモータースポーツへの挑戦には大きな意義がある。ポルシェセンター青山、高輪目黒、ポルシェスタジオ銀座を運営するEBI GROUPは、自動車ディーラーとして長年モータースポーツ活動を続けている。国内外のさまざまなチームが参戦するENEOSスーパー耐久シリーズに挑む意義は、ポルシェの優秀さを証明すること、そして“人材の育成”にある。このシリーズには多種多様なレーシングカーが挑んでいるが、Porsche Team EBIは抜群の

安定感をもつ718 Cayman GT4 RS Clubsportsで参戦。車両メンテナンスはレース専門メカニックに任せ、EBI GROUP各ポルシェセンターから集まった精鋭メカニックたちが手がける。サーキットにおいて、ポルシェメカニックとしての経験と知識を活かすことはもちろんだが、ここで得られた経験を、日々ポルシェセンターでのカスタマーサービス向上に役立てている。

サーキットでの経験がどのようによりポルシェセンターでのサービス向上に繋がるのか。モータースポーツの現場は秒単位でスケジュールが進み、かつ突発的な事態にも即対応しなければならぬ。もしレースでアクシデントがあれば、早急にトラブル箇所を見つけ、手早く修理して万全を期してコースに戻す。こうした極めて短い時間で針の穴を通すような正確な作業を求められるのはサーキットだけであり、それがメカニックとしての大きな経験と技術力に繋がっているのだ。



「サーキットで磨いた技術はお客様の車の整備に間違いなく活かされている」とメカニックたちは語る。また、メカニックたちはレーシングドライバーたちと身近に過ごすことになる。些細なミスが、極限状態で走るレーシングカーにとっては大きなトラブルに繋がる。ドライバーたちの安全を守ること、すなわち普段のポルシェユーザーの皆さんの安全を守る責任感を培うことにも強く繋がっている。

今年シーズンは北園将太/久保凛太郎/山野直也/岩澤優吾というドライバーたちがレースを戦っている。久保、岩澤、そして国際グループの代表である山野は長年国内トップカテゴリーで活躍してきたプロとしてチームを牽引しているが、今年からドライバーとしてチームに加入したのが、田中ポルシェ・プロの北園だ。北園は、自らの速さを鍛えることはもちろん、ポルシェのあるライフスタイルの楽しさを

「EBI GROUPのカスタマーや同僚たちに伝える役割を担う。「こんな経験は他の会社ではできないことです。唯一無二の経験ができていることを本当に嬉しく思っています」と北園は言う。

EBI GROUPは長年、SUPER GTをはじめ、さまざまなカテゴリーのレースに挑戦を続けてきた。ポルシェセンターのメカニックたちの挑戦も同様であり、各レースの規則や参戦車両に合わせたセッティングを試行錯誤し、ポルシェをとことん知り尽くす。そうして持ち帰った技術がポルシェセンターのレベル向上に活かされている。そして、そんな活動をポルシェオーナーの皆さんにも観てもらおうと、毎年シリーズのクライマックスのひとつで、富士スピードウェイで開催される富士SUPER TEC 24時間レースにはEBI GROUP、ホスピタリティラウンジを用意。その戦いぶりをチームメンバーの1人となって間近で観てもらうために数多くのお客様に参加いただいている。



迫力のピット作業を間近で

通常ドライバー交代やタイヤ交換、給油作業などが行われるピットは関係者以外立入禁止だが、EBIの観戦ツアーでは間近で観覧する機会が設けられる。的確にこなされるポルシェセンターのメカニックたちの作業にさらなる安心感を覚えた方も多はず。



開放的な雰囲気ですら楽しむ

スーパー耐久シリーズ第2戦富士 SUPER TEC 24時間レースのEBI GROUP専用テント。近年、日本でもコースサイドでキャンプをしながらのレース観戦が当たり前になっているが、今回の観戦ツアーでは高みからコーナーを見おろすエリアが用意された。



実際の作業シーンと車両も至近距離で

Porsche Team EBIが走らせる718 Cayman GT4 RS Clubsportsを間近で観ることができるタイミングも。このレーシングカーはあくまで市販車をベースとしており、共通するパーツも多いが、レーシングカーがもつ独特のオーラに高い関心が寄せられていた。



快適なスペースで食事を。参戦ドライバーも登場

富士スピードウェイのピット棟2階にあるホスピタリティラウンジは、ゲストだけが入れられる空間。眼下でのピット作業やメインストレートを見下ろす眺望で食事を楽しむことができる。Porsche Team EBIのドライバーたちも登場し、意気込みを語った。



音、路面からのキックバック あらゆる事象がリアルに再現

スバルコのパケットシートに取りまり、6点式のシートベルトを締める。世界初という全長5mのLED湾曲スクリーンには、看板の位置まで正確に再現された富士スピードウェイのコースが映し出される。ステアリングホイールは手応えだけでなく、路面から伝わるキックバックまでリアル。操舵すると、シートに押し付けられるほどの強力なGに襲われる。8つのモーションセンサーが導入されたコクピットは、路面からの突き上げもロールも再現しているのだ。踏力を再現するためにキャリバーを備えたブレーキペダルは重く、フルブレーキはまるでエクササイズだ。

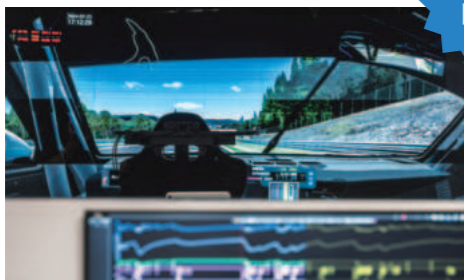


このトレーニングで、上手くならない人はいない

テレメトリーシステムには、アクセル開度、加減速G、操舵角などの様々なデータが表示され、プロドライバーの理想の走りとの違いが一目瞭然。ヘッドセットを通じてエンジニアからのアドバイスを受けながら走ると、周回ごとに課題をクリアしていることが実感できる。入会時にトレーニングしたいマシンのデータを作成してくれるので、アクセル開度と加減速Gの関係やハンドリング特性などは愛車そのもの。確かにこれなら絶対に上手くなる！



読者限定



異次元を体感する特別なイベントが決定！

愛車でサーキット走行をしてみたい！憧れのレースカーの感覚を知りたい！完全会員制（入会費150万円+月額走行費）のシムドライブで、今回特別にボルシェとマクラーレンを使った藤井氏によるドライビングエクスペリエンスを読者限定で開催。サーキットでの異次元のドライブをお楽しみください。



Porsche Circuit Sim-Experience

日時： 2025年1月25日(土) 10:00-13:00

募集人数：6名



McLaren Circuit Sim-Experience

日時： 2025年1月26日(日) 10:00-13:00

募集人数：6名

参加費：70,000円(お一人様・税抜)

ご応募多数の場合は追加日程を設定させていただきます



イベントの詳細・お申込みはこちら

トレーニングを行うドライバーだけでなく、一緒に訪れた家族やパートナーも楽しめる空間にしたいというのが藤井氏の考え。ラウンジルームで寛ぎながら、ドライバーのトレーニング風景を眺めることもできる。



藤井 誠暢

1980年、岐阜県に生まれる。SUPER GTやスーパー耐久といった日本国内のレースだけでなく、ル・マン24時間やデイトナ24時間といった海外のレースでも活躍。現在はFIA世界耐久選手権に参戦、世界のサーキットを転戦している。レースのほかに自動車関連のイベントやマネジメント事業などを幅広く手掛ける。

東京・東麻布の瀟洒なビル。エレベーターの扉が開くと、高級ラウンジとIT企業のラボを組み合わせたような、不思議な空間が広がっていた。奥へと進むと、3機のレーシングシミュレーターが据え付けられている。このsimdriveは、WECやル・マン24時間レースで活躍するトップドライバーの藤井誠暢氏が主宰するドライビングラボ。藤井氏によると、世に出回る一般的なドライビングシミュレーターとは一線を画すものだという。

「英国のレーシングチームや自動車メーカーが用いるレベルのシミュレーター技術に、レーシングドライバーとしての僕の間が広がっていた。奥へと進むと、3機のレーシングシミュレーターが据え付けられている。このsimdriveは、WECやル・マン24時間レースで活躍するトップドライバーの藤井誠暢氏が用いられているのも特徴だ。藤井氏によれば、レース初心者が半年間のトレーニングで、某ワンメイクレースで優勝するまで上達した例もあるという。いざ体験してみると、想像以上にリアルで、本格的なトレーニング。こんな世界があるのかと、目から鱗が落ちる思いがする。

THE ULTIMATE DRIVING LAB

最新のサーキット体験は東京にある

クルマが好きな方でもサーキット走行やレースはハードルが高いと感じるかもしれない。誰もが本格的なスポーツ走行を体験できる、ドライビングラボを訪ねた。

Photography_Kunihisa Kobayashi Words_Takeshi Sato

「経験を落とし込んだ施設です」 simdrive がどれだけ本格的な施設であるかは、GTワールドチャレンジ・アジアに参戦するワークスチームが、賞し切りでトレーニングに励んだというエピソードからも理解できる。入会した方は、まずトレーニングしたい車種のデータを作成する。ボルシェのカップカーやマクラーレンのGT3やGT4といった本格的なレーシングマシンはもちろん、ボルシェ911GT3RSやマクラーレン720Sといったスポーツカーも、世界中のあらゆるマシンに乗ってきた藤井氏のデータで精緻に構築される。

「リッド」、「カイエンス E-ハイブリッド」など、ラインナップのおよそ半分がハイブリッドであり、かつカイエンのトップパフォーマンスモデルには、「ターボ」の名を冠した「カיעンターボ E-ハイブリッド」が据えられているのだ。参考までにスベックをみてみると、エンジンとモーターを組み合わせたパワーユニットの合計出力は「カיעン史上最高」の 739PS、最大トルクは 950Nm。0-100km/h 加速 3.7 秒、最高速度は 290km/h と完全にスーパースポーツカーの領域にある。それではないがモーターのみで最長 82km (WLTP モード) の電動走行が可能。これだけの航続可能距離があれば通勤や買物などの日常シーンではエンジンを始動させる必要はなく、ほぼ EV として使える。ゴルフなどに向かう早朝や深夜の住宅街ではエンジン音を鳴らすことなく、また子どもたちの多い通学路では排気ガスゼロで気兼ねする必要もない。そして高速道路でアクセルペダルを一踏みすれば、本来のスポーツカーとしての性能を味わうことができる。ゼロエミッションと最高のパフォーマンス、その二刀流こそがポルシェのハイブリッドの魅力なのだ。



PORSCHE Cayenne E-Hybrid



**EVのみでも
約90kmの航続距離を実現**

モーターとエンジンを効率良く使い、高い燃費性能とスポーツ性能を併せ持つ E-ハイブリッドだが、EVのみで走行も可能。大容量のリチウムイオン電池を搭載しているため、EVのみでも約 90km の航続が可能となっている。



**PHEVなら
バッテリー残量が気にならない**

高速道路での巡航などエンジンを回し続けて走行する場合、様々な回生システムによりバッテリー残量を回復できる。バッテリー残量を気にしないといけない BEV との大きな違いであり、PHEV ならではの楽しさでもある。



**ジェントルな
立ち振る舞いが可能**

高性能モーターの恩恵は燃費や環境性能、ハイパワーだけではない。任意で静粛性の高さを手に入れられる点も大きな特徴だ。住宅地や物静かな観光地など、状況に応じて紳士的でサステナブルな立ち振る舞いも可能となる。



**PORSCHE
ゼロエミッションと最高のパフォーマンス、
その二刀流こそがポルシェのハイブリッドだ**

「プレミアム性」「万能性」「スポーツ性能」を併せ持つプレミアムSUVのカイエンの最新モデルに、PHEVであるE-ハイブリッドが追加された。もちろん、そのシステムには「さすがポルシェ」と思わせる同社の流儀が詰め込まれている。

Words_Taichi Fujino

ポルシェらしいゼロエミッションとパフォーマンスの両立

ハイブリッドと聞くと、国産メーカーのあのクルマのことをイメージするかもしれない。しかし、ポルシェのそれは設計やコンセプト、性能などまったくの別物。国産メーカーは主に燃費の向上、環境への配慮を重視した設計で通勤や買物など日常の移動に最適化している。一方でポルシェは、もちろん燃費や環境へ配慮しながらも、重視しているのは性能であり、運転が楽しいこと。ハイブリッドをパフォーマンス向上に活用する。そもそもポルシェのハイブリッド技術はレースの現場で培われたものだ。ル・マン 24 時間レースで優勝を果たしたポルシェ 919 ハイブリッドをはじめ、現在もポルシェ 963 が FIA 世界耐久選手権 (WEC) へと参戦し、技術を磨き続けている。それらをもとに登場した市販車のプラグインハイブリッド・スーパースポーツカーが 918 スパイダーだった。そしてその 918 のために設計されたパフォーマンス指向のプログラムを、カיעン、パナメーラへと落とし込んでいる。カיעンのラインナップをみれば、ポルシェがいかにハイブリッドに注力しているかがよくわかる。「カיעン E-ハイブ



水と時を刻む喜び



Grand Seiko
エボリューション9 コレクション
SLGA023 スプリングドライブ
5デイズ ダイバーズ 200 m

黒潮の強いうねりを表現した美しいダイヤル装飾が特徴。200m 防水。自動巻きスプリングドライブ、ブライトチタンケース、ケース径 43.8mm。¥1,595,000(セイコーウォッチお客様相談室 ☎ 0120-302-617)



Breguet
タイプXX 2067

1950年代にルーツをもつパイロットクロノグラフに、ローズゴールドケースのラグジュアリーなモデルが登場。自動巻き、18KRG ケース、ケース径 42mm。¥5,720,000 (ブレゲ プティック銀座 ☎ 03-6254-7211)



Girard-Perregaux
ロレアート クロノグラフ Ti49

1975年に誕生したラグジュアリースポーツの傑作に、フルチタン外装のモデルが登場。軽くてつけ心地は良好。自動巻き、Ti ケース、ケース径 42mm。¥2,728,000 (ソーウインド ジャパン ☎ 03-5211-1791)



TAG Heuer
タグ・ホイヤー モナコ
スプリットセコンド クロノグラフ

究極の計測機器を目指して到達したクロノグラフ。ケースも新設計。自動巻き、Ti ケース、ケースサイズ 41 × 41mm。¥19,415,000 (LVMH ウォッチ・ジュエリー ジャパン タグ・ホイヤー ☎ 03-5635-7030)



ZENITH
デファイ エクストリーム ダイバー

600m 防水の本格派。ブレスレットやリサイクルファブリックのストラップも付属する。自動巻き、Ti ケース、ケース径 42.5mm。¥1,496,000 (LVMH ウォッチ・ジュエリー ジャパン ゼニス ☎ 03-3575-5861)



BLANCPAIN
フィフティ ファゾムス オートマティック

1953年に誕生した現代ダイバーズの原点とされる傑作。300m 防水だが、小ぶりサイズでスマートな腕元に。自動巻き、Ti ケース、ケース径 42.3mm。¥2,728,000 (ブランパン プティック 銀座 ☎ 03-6254-7233)



PANERAI
サブマーシブル クアランタクラトル
ルナ・ロッサ Ti-Ceramitech™

アメリカズカップ出場を目指す「ルナ・ロッサ」チームとのコラボレーションモデル。500m 防水。自動巻き、Ti-Ceramitech ケース、ケース径 44mm。¥2,508,000 (オフィチーネ パネライ ☎ 0120-18-7110)

スポーツ愛好家のための ラグジュアリーウォッチ

スポーツを楽しむ。それは幸福な時間でもある。そんな時間を共に刻んでくれる時計たちは、タフな機能や美しいデザインなどにこだわりたい。

Words_Tetsuo Shinoda



速度と精度への挑戦



JAEGER-LECOULTRE
デュオメトル・
クロノグラフ・ムーン

高精度を追求するため、時刻表示とクロノグラフなどの動力源や輪列を分割。負荷の高い機構を動かしても時刻表示に影響を与えず正確に時を刻む。手巻き、PT ケース、ケース径 42.5mm。価格要問い合わせ (ジャガー・ルクルト ☎ 0120-79-1833)

新しい時間旅行へいざ



IWC
ポルトギーゼ・オートマティック 42

沈む太陽で金色に染まる夕刻の空から着想したダイヤル色が特徴。端正なデザインだが、168時間駆動のパワフルなモデルだ。自動巻き、SSケース、ケース径42.4mm。¥1,963,500 (IWC ☎ 0120-05-1868)



A. LANGE & SÖHNE
ダトグラフ・アップ / ダウン

手巻き式クロノグラフの傑作の25周年を記念した限定カラー。搭載するCal.L951.6は、細部まで丁寧に仕上げられ、別格の美しさ。自動巻き、18KWGケース、ケース径41mm。世界限定125本。価格要問い合わせ (A. ランゲ&ゾーネ ☎ 0120-23-1845)



AUDEMARS PIGUET
CODE 11.59 バイ オーデマ ピゲ
オートマティック

ラウンドケースに八角形の中ケースを組み合わせて、美しい立体構造を実現。「ナイトブルー、クラウド50」と呼ばれるダイヤル色がアクセントに。自動巻き、18KPGケース、ケース径38mm。¥4,950,000 (オーデマ ピゲ ジャパン ☎ 03-6830-0000)



VACHERON CONSTANTIN
パトリモニー・マニュアルワインディング

ダイヤル色はアンティークシルバーで、ストラップ色はオリーブグリーン。1950年代の傑作モデルのデザインを継承し、タイムレスな個性をまとう。手巻き、18KWGケース、ケース径39mm。¥3,740,000 (ヴァシュロン・コンスタンタン ☎ 0120-63-1755)

HARRY WINSTON
HW エメラルド・オートマティック 33mm

創始者が愛し、ブランドロゴにも採用される「エメラルドカット」をデザインに投影。力強さと繊細さを両立。自動巻き、18KWGケース、ケースサイズ39.3 × 33.3mm。¥3,135,000 (ハリー・ウィンストンクライアントインフォメーション ☎ 0120-346-376)



FRANCK MULLER
ヴァンガード 7デイズ パワーリザーブ
スケルトン レーシング クリプトン

暗所で光る特殊素材ケースとトラス構造のムーブメントが見事に融合。手巻き、カーボン×ルミノバケース、ケースサイズ53.7 × 44mm。¥8,250,000 (フランク ミュラー ウォッチランド東京 ☎ 03-3549-1949)



LONGINES
ロンジン パイロット マジェテック

1935年にチェコスロバキア軍の依頼で製作されたパイロットウォッチが復活。屈強なクッションケースが特徴で、視認性も優れる。自動巻き、SSケース、ケース径43mm。¥595,100 (ロンジン ☎ 03-6254-7350)



PARMIGIANI FLEURIER
トンダ PF マイクロローター

薄型でエレガントなスポーツウォッチ。ゴールデンシエナのダイヤルが上質なアクセントに。自動巻き、SS × PTケース、ケース径40mm。¥3,707,000 (パルミジャーニ・フルリエ pf.japan@parmigiani.com)



優雅に熱戦に興じる





店頭には、アーティスト独自の視点でグランドセイコーを解釈した作品が展示される。その第一弾は人形師の中村弘峰が制作した「刻（とき）の獅子」だ。



約50年ぶりに開発した手巻き式の10振動ムーブメント Cal.9SA4を搭載する「Evolution 9 Collection 手巻メカニカルハイビート 36000 80 Hours SLGW003」。ゼンマイを巻き上げる感触も極上。¥1,452,000



表参道のケヤキ並木に面したファサード。ガラス張りなので内部の様子もわかりやすく、入店しやすい。まずはどのような時計なのかを知りたいという人にもおすすめです。



グランドセイコーを直接見て触れることができるコーナーを設置しており、匠の技や精緻さをより気軽に体感することができる。



グランドセイコーブティック
表参道ヒルズ
渋谷区神宮前4-12-10
表参道ヒルズ西館1階
☎ 03-3470-3011
Open 11:00~20:00

読者限定

入江陵介さんをゲストに迎える特別な一夜

グランドセイコーのブランドメッセージである ALIVE IN TIME とは、次の飛躍のために「時」に敬意を持って、今、この一瞬を生きていること。まさにそうした「時」を積み重ねて、私たちに希望と勇気を与えてくれた競泳メダリストの入江陵介さんをゲストに迎え、選手として積み重ねてきた時間やライフスタイルについてお話をうかがいます。また恒例の篠田哲生さんによるウォッチアカデミーも開催。ウォッチビギナーの方にもわかりやすく時計のイロハを解説します。一瞬たりとも見逃せない特別な時間をお楽しみください。

日程: 12月17日(火) 18:00~
会場: グランドセイコー
フラッグシップブティック
銀座並木通り
中央区銀座6-6-5

募集人数: 8組16名様
参加費: 無料



イベントの詳細・お申込みはこちら



元競泳日本代表
入江陵介さん

国内外の選手権で多数の記録を打ち立て、日本競泳界を牽引。ロンドン五輪では200m背泳ぎを含め計3個のメダルを獲得。24年、現役引退。イトマン東進所属。



ウォッチディレクター
篠田哲生さん

時計専門誌からファッション誌やビジネス誌など幅広い媒体で時計記事を担当。時計学校を修了した実践派で、十数年にわたってスイス現地取材も行っている。



グランドセイコーフラッグシップブティック 銀座並木通り。白い漆喰と白木を基調とした銀座にふさわしい贅を尽くした空間で特別なひと時を。

Grand Seiko グランドセイコーの魅力を さまざまな形で伝える 表参道ヒルズの新ブティック

卓越した時計技術と感性的な表現の融合によって、加速度的に成長を続けるグランドセイコー。その世界を表現する新しいブティックがオープンした。

Photography_Masahiro Okamura (CROSSOVER) Words_Tetsuo Shinoda

映像、音楽、アートが生み出す新感覚の没入空間

時刻を知るための実用品という役割だけでなく、自分のライフスタイルを充実させるものとしても楽しまれている「グランドセイコー」。近年では世界最大の時計イベント「ウォッチズアンドワンダーズ」に非欧州ブランドとして唯一参加するなど、世界を魅了する高級時計ブランドとしての地位を確立している。その高度な時計技術や感性的な仕上げといった深い魅力に触れることができる場所となるのが、国内外の「グランドセ

イコーブティック」だ。「グランドセイコーブティック表参道ヒルズ」はその最新店。知識と経験豊富なスタッフが、多くのモデルから最良のグランドセイコーと出会うためのサポートしてくれるだけでなく、ユースカルチャーの発信地という立地を生かした、他にはない特徴を持っている。例えば店内の壁面はLEDモニターになっており、映し出される映像と音楽で、ブランドメッセージである「ALIVE IN TIME」を体現する空間構成になっている。また、代表的なコレクションである「エポリューション9 コレクション」が充実しているだけでなく、オープンスタイルのディスプレイを採用することで、時計を間近に見たり触れたりすることも可能になっている。さらにグランドセイコーのものづくりと親和性があるアーティストによるアート作品を展示しており、さまざまな形でグランドセイコーの哲学に触れることができる。表参道は、ラグジュアリーとストリート、伝統と革新など、さまざまなカルチャーが交差する街。「グランドセイコーブティック表参道ヒルズ」は、グランドセイコーの新しい一面に出会う場所なのだ。

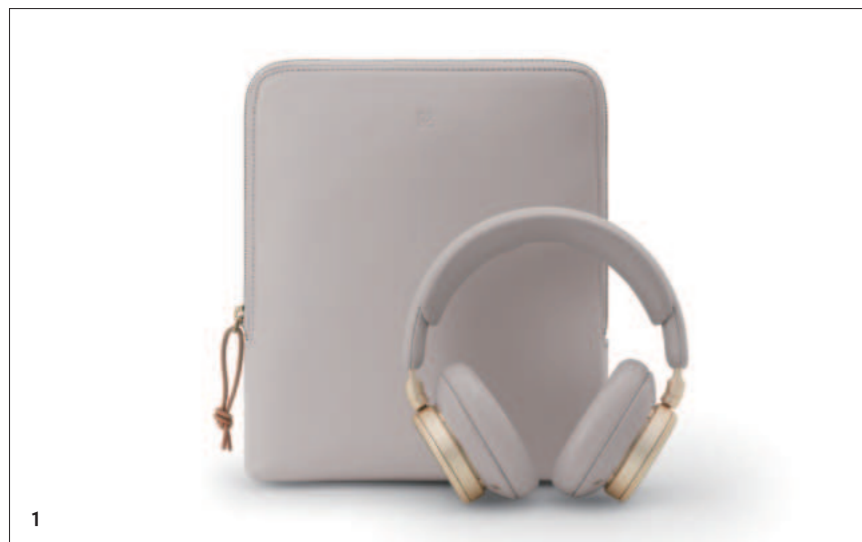


BANG & OLUFSEN

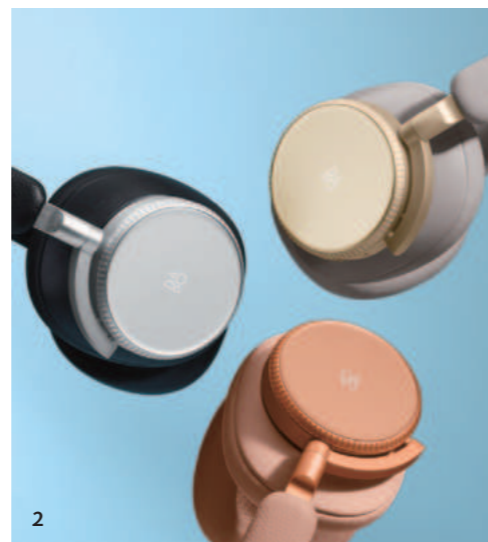
リスニングの未来を再定義するヘッドホン

1925年にデンマークで創業したバング & オルフセン。一世紀におよぶ歴史を携えて、今ここに未来のサウンド体験を切り開くフラッグシップヘッドホン「Beoplay H100」が誕生。

Words_Ami Todoroki



1



2



3

Beoplay H100

1. ソフトなラムスキンレザーで覆われたイヤーパーッドクッションが豊かなリスニング体験を約束。また軽量の専用レザーケースも付属。2. カラーは3色。左から時計回りに Infinite Black、Hourglass Sand、Sunset Apricot。3. タイムレスな意匠を探すのも楽しい。左はブランド初のヘッドホン「U70」。Beoplay H100 ¥229,900

美しいサウンド、タイムレスなデザイン、比類なきクラフツマンシップ、これはバング & オルフセンがピーター・バングとスヴェン・オルフセンによって、デンマーク北西部の小さな町ストルーアで創業して以来、100年間ずっと大切にしてきたことだ。

ブランド生誕100周年を迎えるにあたってリリースされたリスニングの未来を再定義するヘッドホン「Beoplay H100」には、サウンド、デザイン、クラフツマンシップの新機軸の機能やデザインが実装されて

いる。最大 96kHz/24 ビットのハイレゾサウンドだけではなく、装着者に合わせてサウンドを調整する機能を備え、パーソナライズされた高次元のサウンド体験を実現。またハプティック・ダイヤルを用いたアクセシブルなデザイン設計や5分間の充電で最大5時間の再生が可能な急速充電も現代の快適なミュージックライフには欠かせない。

100年の歴史は伊達じゃない。バングとオルフセン、二人の若者が抱いた想いは未来に続いている。



LEXUS LBX MORIZO RR
ホワイトノーヴァガラスフレック

1

LEXUS

ハートを打ち抜く“小さな高級車”

レクサスLBXは、これまで多くのメーカーが挑んで跳ね返されてきた“小さな高級車”をついに完成させた、エポックメイキングなモデルだ。この意欲作に、特別な車名とレース直系のメカニズムが与えられた仕様が加わった。

Words_Takeshi Sato

名は体を表すという言葉がそのままではまるのがこのクルマだ。トヨタの豊田章男会長と、氏がチームオーナーとして立ち上げた ROOKIE Racing の頭文字を組み合わせたグレード名からは、モータースポーツを起点にしてもっといいクルマを作る、という狙いははっきりと読み取れる。

事実、レーサーの佐々木雅弘が開発陣に加わり、GRヤリスと同じパワートレインを積むなど、GR ファクトリーも開発に関与している。

いざ走らせてみると、圧倒的なパフォーマンスが詰め込まれていた。試乗したのはミニ・サーキットで、通常の市販モデルであればアクセルを戻してしまうような高速コーナーを安定した姿勢でクリアし、フルブレーキングで進入するタイトなコーナーでは正確無比なハンドリングを披露する。ノーマルの状態でサーキット走行をこれだけ見事にこなすには、驚いた。



2

1. フルタイム4駆システムが、4輪に素早く、正確にトルクを配分することで、「よく曲がる」と「しっかり安定」を両立する。2. 内装の基本レイアウトはレクサス LBX と共通。ただし専用設計のスポーツシートを開発、着座位置も10mm低くするなど、きめ細やかに仕立てられている。3. GPSを用いた「サーキット」モードも備えている。



3

しかもただ速いだけでなく、抜けのよい排気音や、ステアリングフィールやシフトフィールのよさなど、クルマ好きのハートに響く部分が丁寧に作り込まれている。

もちろんファーストカーとして乗っても抜群だ。いっぽうで、スーパースポーツにお乗りの方が、荷物の多い旅行の時に乗るような使い方も想定できる。「取り回しがいいし、キビキビ走るぶん、こっちのほうが楽しい」という声があがっても、なんら不思議ではない。

レクサス小石川

文京区小日向4-1-1
☎ 03-3813-3331
Open 9:30 ~ 18:00 Close 火曜





期間
限定

ROYAL COPENHAGEN ×
The Momentum by Porsche
期間限定スペシャルコースが登場



モダンでスタイリッシュなブラック コレクションの器で楽しむスペシャルコースが今年も期間限定で登場。この機会にぜひお楽しみください。

期間: 10月23日(水)~12月15日(日)

詳しくはこちらから

店名: The Momentum by Porsche

港区東新橋1-5-2 汐留シティセンター1F

ランチコース 6,600 円(税込)

ディナーコース 12,100 円(税込)

※ランチ、ディナーそれぞれ限定数

※ご予約時に、期間限定コース希望とお伝えください



気分が上がるランチを

黒を利かせた優美な器は、サラダや果物をさっと盛るだけで映えるので、パートナーと過ごす週末のランチタイムにもおすすめです。華やかなテーブルを一緒に囲むことで、自然とエナジーも湧いてくる。(上から時計回りに)「ブラックフルーテッド ハーフレース」プレート27cm ¥28,600、「ブラック レース」ディーププレート21 × H4.5cm ¥9,900、「ブラックフルーテッド ハーフレース」プレート19cm ¥19,800、「ブラック レース」プレート27cm ¥13,200、プレート19cm ¥8,250、スタイルカップ260ml ¥11,000 (すべてロイヤル コペンハーゲン)

ROYAL COPENHAGEN

革新的なブラックで描く上質な日常

北欧の美学を宿したモダンなテーブルウェアは、何気ない日常シーンにエレガントな彩りを添え、豊かな時間を描き出してくれる。

Photography_Kevin Chan Styling_Masayo Motegi (pepe +)
Edit & Words_Kaori Terasawa

1

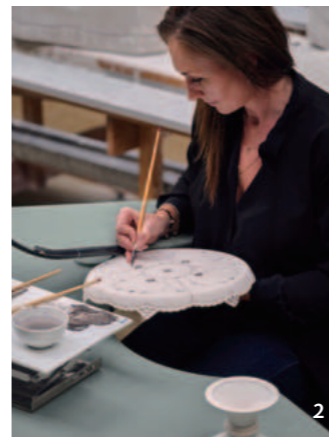


テーブルに新味を演出する黒のコレクション

墨絵のような詩的な美しさを醸すマグは、デンマークの名門ロイヤルコペンハーゲンの名品だ。ロイヤルコペンハーゲンは、王立の磁器製作所として1775年に創業。1世紀を経て民営化された後も“ロイヤル”の称号を受け継ぎ、世界的ブランドへと飛躍を遂げた。開業して最初に製作された「ブルーフルーテッド」コレクションは、誕生から240年以上を経た今も作られる不朽の名作である。そして、これをモダンに進化させたのが、二つの新しいコレクション、「ブラックフルーテッド ハーフレース」と「ブラック レース」だ。

アイコニックな器にダークな黒を纏わせるとは何とも挑戦的だが、意外性のあるカラーはひと際強い洗練感を放ち、空間をスタイリッシュに変えさせる。伝統を継承しつつも固定観念に囚われず、テーブルや空間に新しい価値観を与えるコレクションは革新的であり、日常をより上質なものにしてくれる。

また、ロイヤル コペンハーゲンと言えば、創業以来続くハンドペイントの技術も素晴らしい。王室御用達の誇りを持ち、優れたクラフツマンシップを継承していることこそ、ブランドを唯一無二の存在にしている。



2



3

1. 流麗な地模様と、凹凸で表現されたレースの縁取りが美しいマグ。コーヒーを淹れれば上質なブレイクタイムが過ごせ、眺めるだけでもアートのように楽しめる名作だ。「ブラックフルーテッド ハーフレース」ハイハンドルマグ330ml ¥20,900 (ロイヤル コペンハーゲン) 2. しなやかなラインや模様は、熟練した職人の手によって一つ一つ丹念に描かれており、二つと同じものはない。 3. 艶やかさの決め手となる施釉の工程も、すべて職人の手作業で行われる。

MOLTENI&C

優雅なひとときを 特別なテーブルで

イタリアの老舗「モルテーニ」の
アウトドアテーブルは、ここなら
ではの技術力と、伝説的建築家の
デザインが融合した迫力ある傑作。

Words_Ryota Morishita



構造的に非常に密度の高い
特殊なセメントを用いて、
独特なグレーを表現。直径
150cmの天板、脚の高さは
71.5cmと、サイズ的にも存
在感がある。5〜6人での
団楽にも対応する。「ARC」
¥1,694,000

マクラーレン本社を手掛けた 建築家がデザインを担当

まるで彫刻のような存在
感。円形の天板に滑らかなダ
イナミックな曲線を描く脚。
1934年創業のイタリアの老
舗「モルテーニ」のアウトド
アテーブル「ARC」は、代表
作に英マクラーレン・テクノ
ロジー・センター（MTC）や米
アップル本社などがあるフォ
スター・アンド・パートナーズ
が手掛けた。テーブルの脚は現
代建築の工法に着想を得て設計
され、素材には軽量セメントを
用いて、複雑な形状ながらも重
心で耐久性のあるプロダクトを
実現している。しかもリサイク
ル可能で、製造工程においても
環境負荷が低い。
ソリッドな佇まいながらも、
不思議と表情は柔らかく、静
かな朝も、賑やかな午後も、自
然と調和した爽やかな時間を
演出してくれる。

モルテーニ東京

東京・南青山にあるモルテーニの旗艦店。2棟にわたる合計5つの
エリアで、アウトドア家具も含めた豊富なコレクションを展開し、
高い技術と美意識に貫かれた世界観を体感できる。

港区南青山6-4-6 Almost Blue A棟/B棟
☎ 03-3400-3322 Open 11:00-18:00 Close 水曜・祝日



McLaren

風と街と一体になれる 新しいオープンスポーツ

もし、日常生活と縁遠い存在ではなく、自分の
ライフスタイルをより快適にするスポーツモデルがあったと
したら……。それがマクラーレンのアルトゥーラである。

Photography_Kunihisa Kobayashi Words_Taichi Fujino



McLaren Artura Spider
パバイヤスパーク

3L V6 ツインターボエンジンと駆動用モーターを組み合わ
せ、システム最高出力 700PS を誇るアルトゥーラ スパイ
ダー。もちろんマクラーレン全モデルが採用するカーボン
モノケージの技術を駆使し、街中であっても「マクラーレ
ンでしか味わえない走り」を体感することができる。

マクラーレンが提案するオープンスポーツの新基準

これまでのアルトゥーラに何か足
りないものかと問われたならば、そ
の答えはオープンモデルがないこと
だった。アルトゥーラスパイダーは
ライバルとは一線を画す個性的な
スタイリングをもとに電動式リトラ
クタブルハードトップを装備。車速
50km/h 以下であれば走行中でもわ
ずか 11 秒で開閉可能。ハットレス
(Cピラー) をスケルトン仕上げに。
これは斜め後方の視界を確保するた
めのものだ。また電氣的にルーフの

透明度を変えられる「エレクトロク
ロミックルーフパネル」なら、雨の
日でも開放感が得られる。そしてお
なじみのディヘドラルドアは、従来
モデルよりもドアオープン時の横方
向への張り出しを抑えるなど、実用
性を高める工夫が随所に盛り込まれ
た。スポーツカー好きがオープンモ
デルに対して懸念を抱くのはボディ
剛性の低下だろう。しかしカーボン
モノコックゆえその心配もいらない。
モーターによる電動走行可能距離
も 33km とクーペに対して 10% 改善。
早朝深夜の出勤に近隣への後ろめ
たさを感じる必要もない。ほぼ無音で
ルーフを開けば、圧倒的な開放感と
外界との一体感、アルトゥーラスパ
イダーならではの発見が得られる。



マクラーレン東京

港区赤坂7-1-1 青山安田ビル 1F
☎ 03-6438-1963
Open 平日 10:00 ~ 19:00
土日祝 10:00 ~ 18:00 Close 水曜

マクラーレン東京では、
車の性能が体感できるプ
ロドライバーによる試乗会
を定期的を実施中。お申
し込み頂き次第、直近の
試乗会をご案内いたしま
す。ぜひご参加ください。



1. 50km/h までの速度で開閉可能な電動式リ
トラクタブルハードトップを採用。ハイブリッド
でありながら車重はしっかりと 1.5t を下回る
ように設計されている。2. ボディサイズは全
長 4539 × 全幅 1913 × 全高 1193mm、ホイール
ベースは 2640mm。ドア形状はクーペ同様上部
に持ちあがるディヘドラルドアになっている。

TAKUMA INOUE

1995年12月26日、神奈川県生まれ。幼少のころにボクシングを始め、高1でインターハイ優勝。2013年にプロデビューを果たし、18年12月にWBC世界バンタム級暫定王者に。23年4月、WBA同級王座を獲得。20勝（5KO）1敗



家族の絆と、食らいつく魂。 井上拓真 強さの理由、

父とともに、兄とともに。歯がゆい自分を越えられたのも、井上家、の絆があったから。世界王者、井上拓真が語るボクシングへの思い、そして家族への思い――。

Photography_Sho Kato Words_Toshio Ninomiya Hair & Make_Mizuho Hayashitani



PORSCHE



YOSHIDA

特別を日常にする喜び

高級時計の存在とは、日常を彩るためである。トゥールビヨンにカラフルな色彩を加えた時計は、腕元に華やぎを演出してくれる。

Photography_Masahiro Okamura Words_Tetsuo Shinoda



クラシック・フュージョン スケルトン トゥールビヨン ブルーグラデーション

定番のブルーダイヤルに、グラデーションで個性を加えて、印象的な仕上がりになった。9時位置はパワーリザーブ表示で、連続駆動は約120時間。手巻き、ブラックセラミックケース、ケース径45mm、3気圧防水。世界限定10本。¥12,375,000

クラシック・フュージョン スケルトン トゥールビヨン ヤマブキオレンジグラデーション

温かみのある山吹色をダイヤルに取り入れ、グラデーション仕上げにすることでシックな雰囲気加わり、スタイリングにアクセントを添える逸品に仕上げた。手巻き、ブラックセラミックケース、ケース径45mm、3気圧防水。世界限定10本。¥12,375,000

SHOP

YOSHIDA 東京本店

東京都渋谷区幡ヶ谷 2-13-5
☎ 03-3377-5401
Open 10:30 ~ 19:30 Close 年中無休
(年末年始を除く)
watch-yoshida.co.jp

名古屋 YOSHIDA

愛知県名古屋市中区栄 3-17-17
☎ 052-243-5401
Open 10:30 ~ 19:30 Close 年中無休
(年末年始を除く)
watch-yoshida.co.jp/nagoya

色とメカニズムを楽しむ限定モデル

19世紀初頭に誕生した複雑機構トゥールビヨンは、精度追求のための実用機構だが、現在は時計を魅力的に表現する手法のひとつとしても好まれる。ウブロでは、薄型の「クラシック・フュージョン」にスケルトンタイプのトゥールビヨンを搭載し、日常使いできるスポーティなラグジュアリーウォッチに仕上げている。

2024年に登場した新作モデルは、さらに個性を主張する。2針のダイヤルはインデックスを省き、パワー

リザーブインジケーターとトゥールビヨンの窓、さらに美しいグラデーションカラーを採用することで、腕元に華やかさを加える時計となった。もちろんケースバックからはスケルトン構造のムーブメントを見ることがので、トゥールビヨンの構造やウブロの優れた技術力も堪能できる。

複雑機構を日常使いできるように、デザインと機能を極めた逸品を、老舗の高級時計店YOSHIDAのウブロサロンで手に取ってほしい。

井

上家の絆は、計り知れないほどに強い。
プロボクシングWBA

世界バンタム級チャンピオン、井上拓真には父の真吾トレーナー、4団体統一世界チャンピオンの兄、尚弥がセコンドについている。

「2人が後ろにいてくれるだけで、自分の気持ちは何倍も強くなります。いる、いないではまったく違う。心強いっていうのもあるんですけど、安心感があるんです」

25年近く、ずっと一緒にボクシングをやってきた。幼稚園のころだった。2歳上の兄が父に手ほどきを受けているのを目にして、「僕もやりたい」と言いつつ始めた。

「物心ついたら、生活の一部になっていたという感覚です」

兄についていくだけで一生懸命。2歳違えば、体力も違う。それでも歯を食いしばって食らいついた。遊び盛りの小学生のころ、友達が遊んでいても学校が終わればトレーニングに直行した。後ろ髪引かれる思いは特になかったという。

「やっぱり兄と一緒にやっていたというのが大きい。放課後、時間を決めて一緒に学校を出ていました。それが一日の生活サイクルになっていましたから。ボクシングが楽しいかって聞かれたら、別にそうじゃない。ついていくだけで必死でした」
「登校前の早朝ロードワークは必須。雨が降っても関係なかった。とはいってもまだ子供。2人で結託して

途中でサボることもよくあった。言い出すのも叱られるのも大体、兄だったという。

「自分は兄についていくだけなので走るなら走るし、サボるならサボるっていう。そういうときに限って、父に見つかっちゃうんですよね(笑)。「一緒に頑張ってこっぴどく怒られたことももちろんあります」

父としてトレーナーとして見守ってきた幼き兄弟の力

父は当時の2人をどのように見ていたのか。昔を懐かしむような優しい目で言った。

「尚はそうやって悪知恵が働くんですよ(笑)。まあでも子供ですから、1から10全部を100%でやるって難しいことも分かっていました。自分(独立した)塗装の仕事も忙しかったので、自分がいなくてもしっかり練習する習慣を身につけさせたくて、口酸っぱく言いましたね」

年を重ね、ボクシングが上達していくにつれて、父の目がなくても一心不乱にトレーニングに打ち込むようになっていく。兄がそうなれば、弟もそうなる。兄弟であり、親子であるとともに「同志」でもあった。父はこのように言葉を付け足した。
「尚も拓も根を上げないんです。小さいころからそうでした。僕としては途中であきらめさせないように「頑張り」「ここで負けるな」と煽るわけですけど、2人ともやり切る力みたいなものがありましたね。」

喜びを爆発させた。

「自信も不安も本当に五分五分の状態でしたし、自分にプレッシャーを掛けて追い詰めてきたところもありました。だから自然と涙が出ました。これまで嬉し泣きしたことなんてなかったです」

父の真吾トレーナーもリング上で泣いていた。彼は言う。

「拓真は技術的にかなり高くて、たくさん引け出しがある。でもなかなか試合で出せなくて歯がゆさもあった。それがあのアンカハス戦は全部出し切ってくれて僕は感動したし、本当に最高でした。おかげで涙がちよちょ切れましたよ(笑)」

歯がゆかったのは他ならぬ拓真自身。チャンピオンとしてステージがグンと引き上がった一戦にもなった。

理想のスタイルを突き詰めボクシング人気を継承していく

5月には東京ドームで石田匠を退けて3-0判定勝ち。そして10月13日、有明アリーナで同じ95年生まれでアマ時代に勝利している元日本チャンピオン、堤聖也の挑戦を受けることになる。

拓真が目指す、理想のボクシングとは何か。それは父と兄と一緒に打たせずに打つ、です。昔からずっとやってきているわけ、この部分をもっと濃くしていくことかなと思います。どのパターンになっても、どの距離になってもちや

「拓真強し」を印象づけたのが今年2月のジェルウィン・アンカハス戦である。1階級下で9度の防衛を誇ってきた強者に対し、真つ向から打ち合った。そして9回、突き上げるような右のボディショットでアンカハスを沈めたのだ。

感情をあまり表に出さない男が、



今でも変わらないのは素直であること。やらなきゃいけないことを、本人たちが一番分かっている。だからしっかり(ボクシングと)向き合えるんだと思います」

拓真は兄と同じくアマチュアボクシングで注目され、高1でインターハイ優勝を果たす。そして高校卒業を待たず、兄も所属する元世界チャンピオンの大橋秀行が会長を務める大橋ボクシングジムに入門する。

拓真に待っていたのは次々と強者とマッチメイクされる異例とも言える超ハード路線。2013年12月のプロデビュー戦で日本ランカーに6回判定勝ちすると、2戦目で世界ランカーをぶつけられても8回判定で白星を手にした。

アマだろがプロになろうが、父の厳しく温かい指導は変わらない。

「父にしか出せない雰囲気があるんですよ。練習に入ると兄と僕だけじゃなく、他のボクサーもビリつきますから。日常でもふとした瞬間にボクシングの話になりますし、常に父であり、トレーナーなんです」

プロ14戦目にして初の敗戦がもたらした変化

世界チャンピオンになった兄に続けと15年7月、プロ5戦目で東洋太平洋スーパーフライ級王座を獲得。その3年半後、WBC世界バンタム級暫定チャンピオンとなる。しかしながら順風満帆の拓真に大きな試練が待ち受けていた。

んとそれができるようにしたいです」

ボクシングの魅力を伝え、歴史あるボクシング人気を継承させていくのも世界チャンピオンの役目である。

「ボクシングは本当に奥が深い。殴り合いのなかでいろいろな技術で駆け引きしながら相手を崩していく。そういう目線で見てもらえるように、頑張っていければと思います」

井上拓真選手をポルシェセンター高輪がサポート

井上拓真の魅力の一つは打たせずに打つ技術力の高さだ。現状に満足することなく日々追求していく姿勢は、ポルシェの mindset とも重なる。今回、ポルシェセンター高輪とスポンサー契約を締結。「ポルシェはシンプルにかっこいい。この車に乗れることは凄く光栄なこと。自分自身、これからも進化を求めていきたい」と井上選手は語る。





ハイヤーを使った新しいドライブを

国際グループならではのプレミアムハイヤーサービス

前述の御殿場にある「レストランテ桜鏡」をはじめ、その土地の“旨味”を凝縮したレストランこそ、せっかくの遠出をしたのだから、心ゆくまで料理を堪能し、東京では出会うことのない贅沢な空間と時間を楽しみたい。しかし、車を運転していくとお酒を楽しめなくなるのも事実。

そこでおすすめしたいのが、アル

ファードを使った国際グループのハイヤーサービスだ。グループ顧客のビジネスシーンでもご利用いただける経験豊富な乗務員が揃っているので安心。またパーソナルドライバーサービスを利用すれば、往路は自身で愛車の運転を楽しみ、復路はドライバーに運転を託して自宅に戻ることも可能だ。

プレミアムハイヤーサービス 読者専用のハイヤー予約サービスを開始

TOUCH DRIVE 読者限定のプレミアムハイヤーの予約特設サイトを開設しました。記念日など目的に合わせてカスタマイズも可能です。詳細はQRコードよりご覧ください。



パーソナルドライバーサービス プロフェッショナルなドライバーを派遣

パーソナルドライバーサービスを利用すれば、愛車でのショーファーライドも可能です。



1. 経験豊富なドライバーが快適なハイヤードライブをサポート。2. レストランテ桜鏡にはヘリポートが常設。東京からわずか 30 分で御殿場に到着。3. バング & オルフセンのヘッドホンで極上のサウンドを往復のドライブで堪能できる。



1. ジャズの甘く優しいしらべが広がるなか、開放的な窓の外には夕陽が富士の稜線に沈んでいく贅沢なシーンが映される。2. 黒羽徹シェフによる特別なコースメニューは 12,000 円（税込）。3.4. 9月6日にはPiano 上長根明子、Alto Saxophone 大隅卓也、Bass 永松徳文のトリオによる演奏が行われた。

レストランテ桜鏡で秋の夜長を楽しむ 甘く優しいジャズのしらべ

Photography_Kunihisa Kobayashi Words_Ami Todoroki

三位一体が織りなす特別な瞬間を

世界一予約の取れないレストランとも称された「エル・ブジ」で、日本人として初めて修業をした黒羽徹シェフ。世界各地で研鑽を重ねた氏による四季折々の食材を使った一皿を求めて、全国から食通たちが足しげく通う「レストランテ桜鏡」。ここは名峰富士を独り占めできる絶景レストランとしても人気だ。

そんな「レストランテ桜鏡」に、芸術の秋にふさわしい金曜限定ディナー「Friday Night Jazz」が登場。個性光る活躍で注目されるアーティストたちの生演奏とともに、目にも鮮やかな料理に舌鼓を打つ。そして絵画のような富士山の景色が合わされば、三位一体が織りなす忘れられない至福の時間が始まる。



レストランテ桜鏡

静岡県御殿場市東田中3373-20
☎ 0550-70-6255 (要予約) 📍 15台 EV充電器あり
次回のFriday Night Jazzは11月15日(金)。
詳細は桜鏡のウェブサイトをご覧ください。
Open 11:30~13:30(最終入店時間) / 17:30~
19:30(最終入店時間) Close 火曜ディナー、水曜
sakurakagami.com

RANGE ROVER SV P615 LWB

トルマリンブラウン

RANGE ROVER SPORT SV EDITION ONE

カーボンブロンズ



RANGE ROVER

最高のフラットライド体験

レンジローバーの最上級グレードである「SV」。その特別試乗会が「東京エディション虎ノ門」で開催された。この最上級にふさわしい特別なイベントの様相をレポートする。

Photography_Etsuko Murakami Words_Ami Todoroki



1

1. 国内では唯一ジャガー・ランドローバー青山が保有する限定車 RANGE ROVER SPORT SV EDITION ONE の試乗が実現。8月25日に発表された EDITION TWO への期待が膨らむ。

レンジローバーSVの真骨頂、贅を尽くしたフラットライドを体験

レンジローバーSVはスペシャル・ピークル・オペレーションズ (SVO) というビスポーク部門が手掛ける最上級グレードだ。好みに合わせてパーソナライゼーションを極めた迫力の1台は、これまで以上に車がセルフポートレイトを描く大きなキャンバスになったかのように感じさせる。

そんなSVの試乗会が「東京エディション虎ノ門」で開催。その土地の文化や美学を活かしたカスタマイ

ドホテルとも称されるここは、まさに個の美学を極めるレンジローバーSVにこそふさわしい。

ゲストが乗った車がホテルから静かに滑り出る。巨大なパワーを秘めるエンジンがどの速度域でもドライバーに優しく寄り添い、心地よいステアリングフィールや贅を尽くした空間と相まって最高のフラットライドへと導いたことは、試乗を終えたゲストたちの笑顔から、うかがい知ることができた。



2



3

2. 走行性能だけではなくSV独自の内外装の意匠についても丁寧な解説が行われていた。3. 特別な試乗のスタートは東京の摩天楼を望むホテル31階のラウンジ「Lobby Bar」から。

ジャガー・ランドローバー 青山

渋谷区神宮前 2-8-2 外苑西通りビル
☎ 03-5410-1311 Open 10:00 ~ 18:00

ジャガー・ランドローバー 日比谷

千代田区有楽町 1-5-2 東宝日比谷プロムナードビル 1F
☎ 03-3528-8666 Open 10:00 ~ 18:00

軽井沢フューチャーズ2024を
バング & オルフセンがサポート

Photography_Kunihisa Murakami Words_Ami Todoroki



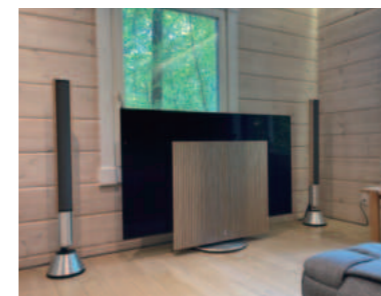
若者の志を支えるスポンサーシップ

テニス男子のATPツアーはグラントスラムを頂点に、ATPワールドツアーファイナルズ、ATPツアーマスターズ、ATPチャレンジャーツアーと裾野が広がる。そして下位カテゴリーとなるITFフューチャーズシリーズでポイントを積み重ねた上

位者のみにATPツアーへの参加資格が与えられるのだ。今年で20年目を迎えた軽井沢フューチャーズ。ポイント獲得を目指して国内外の選手が多数参戦。軽井沢会テニスコートで熱戦を繰り広げた。

そんな国際色豊かな同大会のスポンサーを務めたのがバング&オルフセン(株式会社ザ・ピースインターナショナル)だ。ブランド名にもなった二人の創業精神は、若き選手たちに共鳴しその志を支える。会場には製品が展示されるとともに優勝者にも記念の製品が贈られた。

そんな国際色豊かな同大会のスポンサーを務めたのがバング&オルフセン(株式会社ザ・ピースインターナショナル)だ。ブランド名にもなった二人の創業精神は、若き選手たちに共鳴しその志を支える。会場には製品が展示されるとともに優勝者にも記念の製品が贈られた。

バング & オルフセンの
ライフスタイル展示を体験

軽井沢会テニスコートのほど近く、北歐の環境に優しい住まいを提案するランタサルミ軽井沢モデルハウスでバング & オルフセン製品の特別展示を実施しています。※土日祝はご予約のうえ、ご来場ください。

ランタサルミ軽井沢モデルハウス

長野県北佐久郡軽井沢町大字長倉820-19
☎ 0267-46-5547 Open 9:00~17:00 Close 水曜
■ 5台 EV充電器 なし

STAFF LIST

Publisher / Producer
Yasumasa Isobe / WRANC Inc.

Art Director
Hiromitsu Sasaki / Vivid.Design

Administrator / Assistant Editor
Mina Harada / WRANC Inc.

Assistant
Izumi Yamaya / WRANC Inc.

Designer
Michiyo Hata / cream

Printing Director
Junko Fukunaga / JBF

Dtp Operator
Naoki Cross / grokDesign

Special Thanks
For Editorial Contribution

Senior Project Manager
Yuki Arakawa

Project Manager
Tatsuhiko Kanno

Project Coordinator
Yumiko Kanai
Mio Kunishi
Mitsuharu Hori
Hanako Ochiai

Sales
Akira Shiomi
Akira Suzuki
Asako Kudo
Atsuro Sato
Azamu Tsubasa Chuma
Chie Shima
Daichi Yamamoto
Daisuke Ieki
Daisuke Kikuchi
Daisuke Koizuka
Daisuke Minakawa
Ei Tsuchida
Eiji Chikamatsu
Fumito Sasaki
Genki Tanaka
Go Iriyama
Hayato Matsukawa
Hideaki Suzuki
Hideo Miyamoto

Hideyuki Ohtani
Hiroaki Akizawa
Hiroaki Hirabayashi
Hirohito Morii
Hiroshi Honma
Hiroshi Matsumoto
Hiroshi Okamura
Hiroshi Tagashira
Hiroyasu Tsuchiya
Ichiro Takakuwa
Isaku Owada
Johannes Yoichi Sasaki
Jun Kimura
Jun Oki
Jun Ome
Kanao Kitajima
Kantaro Takegata
Katsuhiro Enokido
Katsushi Tanda
Katsutoshi Takeda
Katsuyuki Okamoto
Kazuhiro Kodera
Kazuhiro Watanabe
Kazuma Koizumi
Kazunari Minami
Kazutoshi Kimura
Kazuyuki Okamoto
Kei Miyoshi
Kei Watanabe
Keiichiro Kawakita
Kenji Ihara
Kentarō Akiya
Kenya Kondo
Kiyohito Yanagi
Kohei Yoshihara
Koji Uloya
Kota Yoshinaga
Kyohei Ogawa
Masahiro Wakatsuki
Masaki Sugiura
Masaki Yoshinami
Masaru Saito
Masashi Matsuo
Masumi Kodama
Mie Adachi
Miho Ishii
Mitsuharu Inaba
Mitsunobu Fukuda
Mitsuo Motoyoshi
Mitsutaka Nakamura
Motoharu Inagaki
Munetaka Inoue
Naoki Sakaizawa
Narufumi Kudo
Noburo Funaki
Nozomu Furui
Osamu Ono
Ren Saito
Ryusuke Mizoe
Sakura Takayama

Sayaka Ota
Seiya Hashimoto
Shingo Shimobe
Shinichi Ohmura
Shinichi Sasaki
Shinya Ujiie
Shota Kitazono
Shota Numajiri
Shuichi Kataoka
Shun Higuchi
Shun Itabashi
Susumu Azegami
Tadashi Imaizumi
Takafumi Iizuka
Takahiro Yamada
Takanori Osada
Takashi Oya
Takashi Tsukada
Takayuki Yamamoto
Takeshi Seki
Takumi Chinone
Takumi Kawamura
Takumi Osone
Takumi Seki
Tatsuya Kimura
Teppei Honda
Tetsu Hirano
Toki Kawano
Tomoaki Fujikawa
Tomohiko Okada
Tomokazu Fudo
Toshiaki Matsui
Toshiaki Nomoto
Toshihiro Suzuki
Toshinori Ihashi
Toshiro Fukuyama
Tsuyoshi Hiura
Yasunori Matsushita
Yoshihito Hishikawa
Yoshimasa Imagawa
Yoshiyuki Utsugi
Yosuke Kitayama
Yosuke Sakamoto
Yuji Ishiyama
Yuji Takahashi
Yukihisa Ito
Yume Hanai
Yusuke Asano
Yusuke Endo
Yusuke Goto
Yusuke Kamimura
Yuta Ehara
Yuuki Hori
Yuya Suzuki



TOUCH DRIVE公式ウェブサイト

ktouch.jp



公式SNS \ Follow us /



@touchdrive



編集・広告のお問い合わせ
WRANC株式会社
Tel 03-6427-3026
touch@wranc.com

P14 ナスファームヴィレッジ

Yasunori Matsushita
ボルシェセンター高輪

女優であり実業家の紗栄子さんが運営する Nasu Farm Village の撮影に参加しました。牧場に入るとまず目に飛び込んでくるのが、広大な敷地に綺麗に刈り込まれた芝生と高原に連なる山々という絶景。大きな厩舎には美しい毛並みの馬たちを見ることができ、大自然の中での乗馬体験は日々の疲れを癒してくれます。敷地内のレストランでのお食事でもまた格別な思い出になるかと思えます。愛車の撮影にもおすすめの場所です。

P10 ライドエクスペリエンス

Toshihiro Suzuki
McLaren東京

今回は那須での撮影に参加しました。あいにくの曇り空でしたが、自然が多い那須の Artura Spider でのドライブは最高の一言に尽きます！またライドエクスペリエンスのツアーで使用されるEバイクに初めて乗りましたが、想像よりも速く、その走行性能にどこまでも走っていきたくする思いに駆られました(笑) アクティブな方はもちろん、サイクリングはちょっと…という方でも存分に楽しめるはずです。

P22 ファッション

Yuya Suzuki
ジャガーランドローバー青山

モデルの KENJI さんと国尾あかねさんによる秋冬ファッションと RANGE ROVER VELAR、JAGUAR F-PACE の撮影に立ち会いました。秋冬のファッションですが、実は撮影は9月です。30℃を超える暑さの中、お二人とも汗をかくことなく爽やかな表情でポーズをとられ、プロの仕事ぶりに感動しました。また、お車好きの KENJI さんとは RANGE ROVER についても色々とお話させていただきました。楽しい撮影となりました。

KOKUSAI GROUPの各ブランドのスタッフがTOUCH DRIVEの制作現場に潜入!!
一冊にはたくさんのドラマが詰まっています。

P42 スーパー耐久

Kohei Yoshihara
ボルシェセンター目黒

5月に富士スピードウェイで開催された富士 SUPER TEC 24 時間レースを現地で観戦しました。EBI GROUP が参戦するこのレースでは、オーナー様向けの観戦ツアーを実施しており、今年も多くの方が現地で声援を送ってくださいました。レースのピット内での見学やレースの見どころをお伝えする観戦ツアー、ドライバーやボルシェプロによるトークなどが好評でした。引き続き応援をよろしくお願致します！

P46 シムドライブ

Masaki Yoshinami
ボルシェセンター目黒
六本木認定中古車センター

simdrive の撮影に立ち会いました。特別にシミュレーターを体験させて頂きましたが、ステアリング含め実際に車両を走行しているのと非常に近い感覚でした。また、ヘッドフォンを通じて常に走行アドバイスが得られるため、どこでブレーキやアクセルを踏むのかが明確で、初体験のころをお伝えする観戦ツアー、ドライバーやボルシェプロによるトークなどが好評でした。引き続き応援をよろしくお願致します！

P32 首都高ナイトドライブ

Mitsunobu Fukuda
レクサス小石川

夜の首都高速で、レクサス LC500 カブリオレをオープンにして撮影を行いました。首都高をオープンカーで走行することは初めての体験でしたが、夜風が気持ち良く、ライトアップされた東京タワーやビル群がとても綺麗でした。その後、日本の道路の起点、日本橋でも撮影を実施。普段はなかなか足を止めることがない場所かもしれませんが、麒麟像や道路標線を見ることができ、おすすめの場所です。

P57 バング & オルフセン

Isaku Owada
B&O

本号では待望の新作であるヘッドフォン、Beoplay H100 をご紹介しています。H100 という名前には、音を100%再現するという意味も込められており、現在の Bang & Olufsen が持つ最高峰の技術が詰まったヘッドフォンです。国内でのお披露目となったローンチイベントでその音を体験しましたが、音の再現性は非常に高く、ヘッドフォンの音とは思えないほどでした。ぜひ店頭で異次元のサウンドをご体験ください。

P34 ムーレー

Hideyuki Otani
ボルシェセンター青山

私自身も大好きな MooRER。その魅力は最高品質にこだわり、一切の妥協なく造り上げられている点でしょう。この細部まで徹頭徹尾追求する美学は、ボルシェのクルマ作りの哲学にも通じるものがあると思います。撮影現場では、カメラマンやエディターのページ作りにかかるプロフェッショナルな情熱がひしひしと伝わってきました。ぜひ MooRER のプティックやボルシェショールームにお出かけください！

P38 A.ランゲ&ゾーネ

Susumu Azegami
ボルシェセンター高輪
小石川認定中古車センター

高級機械式時計には以前から興味がありましたが、今回、誌面の撮影に立ち会って、A.ランゲ&ゾーネにはドイツの歴史に翻弄されて潰れた時間があることを知りました。また、困難を乗り越えながらも見事に復活を果たしている点はボルシェとも重なります。貴重な時計に触れ、細部にわたる職人の技術と技巧に圧倒されました。機械式時計が好きな方には、ぜひ一度手にとって見ていただきたい逸品です。

P48 ボルシェ カイエ

Go Iriyama
ボルシェセンター青山
世田谷中古車センター

カイエを始めとしたボルシェのハイブリッドモデルが注目されています。各メーカーが燃費や環境性能を重視する中、ボルシェはそれらに配慮しつつ、運転の楽しさとハイブリッド性能を両立させています。バッテリー残量が気になる場面でも、回生システムがバッテリーを回復させます。さらに、EVモードのみで最大約90kmの航続走行が可能となり、従来のハイブリッドモデルと比べて大きな進歩を遂げています。

P58 ロイヤル コペンハーゲン

Kazuma Koizumi
ボルシェスタジオ銀座

ロイヤルコペンハーゲンの撮影に立ち会いました。デンマークのブランドを都内のスタジオでいかに表現するか、カメラマンやディレクター、フードコーディネーターやスタイリストが丸となって撮影が進みます。約250年続くブランドの伝統や技巧、技術などが一枚の陶器に凝縮されているように感じました。また、お皿がまるで隠し味となり、普段の食卓を素敵にひと時へと演出してくれる可能性を感じました。

オンラインショップ VACHERON-CONSTANTIN.COM - 0120-63-1755



「目を閉じても、
心に残る美しさがある」

コーリー・リチャーズ、写真家兼探検家、
ヴァシュロン・コンスタンタン
オーヴァーシーズを着用


VACHERON CONSTANTIN | ONE OF
GENÈVE | NOT MANY.